

平成28年8月教育委員会定例会議事日程

新潟市教育委員会

日 時	平成28年8月29日（月） 午後3時30分 開会
場 所	新潟市役所白山浦庁舎6号棟2階 教育会議室1
日 程	<p>第1 会議録署名委員の指名</p> <p>第2 付議事件</p> <p>議案第14号 平成28年9月議会定例会の議案について…………… 1</p> <p>議案第15号 教育委員会の事務の管理及び執行状況に関する 点検・評価の議会報告について…………… 2</p> <p>議案第16号 平成29年度使用新潟市立高等学校用 教科用図書採択について…………… 2 5</p> <p>議案第17号 平成29年度使用新潟市立高志中等教育学校後期課程用 教科用図書採択について…………… 4 1</p> <p>第3 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度新潟市奨学生等の選考結果について…………… 1 ・学校施設長寿命化指針等の策定について…………… 3 <p>第4 次回日程</p> <p>9月定例会 平成28年 9月27日（火）午後3時30分</p> <p>10月定例会 平成28年10月26日（水）午後3時30分</p> <p>11月定例会 平成28年11月29日（火）午後3時30分</p> <p>第5 閉会</p>

平成28年8月

教育委員会定例会議案等

新潟市教育委員会

付議事件

議案第 14 号

平成 28 年 9 月議会定例会の議案について

平成 28 年 9 月議会定例会の議案について市長より意見を求められたため、その意見について議決を求める。

平成 28 年 8 月 29 日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

平成 28 年度一般会計補正予算について

【中央公民館】

人材育成・地域交流型 出会いと婚活支援事業（国の交付金による事業）

歳入の部：地域少子化対策重点推進交付金…………… 5, 336 千円

歳出の部：公民館費…………… 5, 336 千円

[交付金概要]

少子化問題に対応するため、結婚に対する取組及び結婚・妊娠・出産・乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組について、先駆的な取組を行う地方公共団体を支援する。

[事業概要]

上記交付金の当該事業について、歳入歳出予算を補正するもの。

新潟市の将来を担う若い世代を支援するために、交流と出会いの場を提供する。

結婚を希望する新潟市内の男女を募り、3か所の地区公民館でセミナーとイベントを開催する。セミナーでは、コミュニケーションやワークライフバランスなどを学び、イベントは地域の魅力（食、アルビレックス、アートなど）をテーマに民間団体と連携して実施する。1会場につき男女各20名を募集し、計120人の参加を見込んでいる。

[事業費]

歳入：教育費国庫補助金

補正前……………	0 千円 (ア)
補正額……………	5, 336 千円 (イ)
補正後 (ア) + (イ) ……	5, 336 千円

歳出：公民館費

補正前……………	422, 429 千円 (ウ)
補正額……………	5, 336 千円 (エ)
補正後 (ウ) + (エ) ……	427, 765 千円

議案第 15 号

教育委員会の事務の管理及び執行状況に関する点検・評価の議会報告について

教育委員会の事務の管理及び執行状況に関する点検・評価の議会報告を、次のとおりと
したいため議決を求める。

平成 28 年 8 月 29 日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

**教育委員会の事務の管理及び
執行状況に関する点検・評価報告書
(平成27年度対象)**

**平成28年 月
新潟市教育委員会**

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民への説明責任を果たしていくために、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教育法」という。）第26条の規定に基づき平成27年度の教育委員会の事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果をまとめたものです。

－ 目次 －

I 教育委員会の活動状況について

- 1 教育委員会会議の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2 教育委員会会議以外の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- 3 平成27年度の主な取組と成果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

II 新潟市教育ビジョンの施策評価について

- 1 平成27年度施策評価一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
- 2 主な施策・事業の評価状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
- 3 教育ビジョン推進委員からの主な意見・要望と教育委員会の対応
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

I 教育委員会の活動状況について

1 教育委員会会議の開催状況

○新潟市教育委員会定例会・臨時会

- | | | |
|--------|--------|--|
| 4月定例会 | 議案第1号 | 阿賀小学校と満日小学校の統合について |
| | 議案第2号 | 平成28年度使用新潟市立小学校用教科用図書採択に関する基本方針について
平成28年度使用新潟市立中学校用教科用図書採択に関する基本方針について
平成28年度使用新潟市立特別支援学校用教科用図書採択に関する基本方針について |
| | 議案第3号 | 平成28年度使用新潟市立高志中等教育学校前期課程用教科用図書採択に関する基本方針について |
| | 議案第4号 | 平成28年度使用新潟市立高等学校用教科用図書採択に関する基本方針について |
| | 議案第5号 | 平成28年度使用新潟市立高志中等教育学校後期課程用教科用図書採択に関する基本方針について |
| | 議案第6号 | 教職員の人事措置について |
| 5月臨時会 | — | 報告案件のみ |
| 5月定例会 | 議案第7号 | 平成27年6月議会定例会の議案について |
| 6月定例会 | — | 報告案件のみ |
| 7月定例会 | 議案第8号 | 市立小学校長の人事について |
| | 議案第9号 | 平成28年度使用新潟市立小学校用教科用図書の採択について |
| | 議案第10号 | 平成28年度使用新潟市立中学校用教科用図書並びに新潟市立特別支援学校・学級用一般図書の採択について |
| | 議案第11号 | 平成28年度使用新潟市立高志中等教育学校前期課程用教科用図書の採択について |
| 8月定例会 | 議案第12号 | 職員の人事措置について |
| | 議案第13号 | 教育委員会の事務の管理及び執行状況に関する点検・評価の議会報告について |
| | 議案第14号 | 平成28年度使用新潟市立特別支援学校・学級用一般図書の採択に係る教育長代理について |
| | 議案第15号 | 平成28年度使用新潟市立高等学校用教科用図書採択について |
| | 議案第16号 | 平成28年度使用新潟市立高志中等教育学校後期課程用教科用図書採択について |
| 9月定例会 | — | 報告案件のみ |
| 10月定例会 | — | 報告案件のみ |
| 11月定例会 | 議案第17号 | 葛塚東小学校と太田小学校の統合について |
| | 議案第18号 | 平成27年12月議会定例会の議案について |
| 12月臨時会 | 議案第19号 | 市立小学校長の人事について |
| 12月定例会 | 議案第20号 | 新設統合校の通学区域について |
| | 議案第21号 | 通学区域の一部変更について |
| | 議案第22号 | 岩室学校給食センターと巻学校給食センターの統合について |
| | 議案第23号 | 教職員の人事措置について |
| 1月定例会 | — | 報告案件のみ |
| 2月定例会 | 議案第24号 | 平成28年2月議会定例会の議案について |
| | 議案第25号 | 市立小・中・特別支援学校・幼稚園の校園長の人事について |

- 2月 臨時会 議案第26号 市立高等学校校長の人事について
 議案第27号 教職員の人事措置について
 議案第28号 教職員の人事措置について
- 3月 定例会 議案第29号 新潟市教育委員会組織規則の一部改正について
 議案第30号 新潟市教育長に対する事務の委任等に関する規則の一部改正について
 議案第31号 新潟市立学校管理運営に関する規則の一部改正について
 議案第32号 新潟市長から委任を受けた新潟市生涯学習センターの管理に関する規則の一部改正について
 議案第33号 新潟市白根学習館条例施行規則に関する規則の一部改正について
 議案第34号 新潟市西川学習館条例施行規則に関する規則の一部改正について
 議案第35号 事務局及び機関の長の人事について
 議案第36号 教育財産の用途廃止について
 議案第37号 教育財産の用途廃止について
 議案第38号 市立高等学校等の人事管理について
 議案第39号 第2期新潟市いじめ防止対策等専門委員会委員の委嘱について

○教育委員会会議の公開等に関すること

- ・会議について 原則公開（人事案件等非公開の場合あり）
- ・開催案内について ホームページ・市報にいがた等に掲載
- ・会議案件について ホームページで案件名を事前に公開
- ・会議録について 会議終了後、会議速報をホームページに掲載
 会議録作成後、速やかに、ホームページに掲載及び市政情報案内室において公開
- ・傍聴の平均人数 3.93人

- ・地教行法等に基づき、新潟市では毎月、教育委員会定例会及び必要に応じて臨時会を開催しており、平成27年度は15回の会議（定例会12回、臨時会3回）を開催しました。
 （付議事件39件、報告案件30件）
- ・重要な案件については、教育委員会定例会の付議事件とする前に協議会の場において事前協議を行い、十分な検討を重ねています。（協議会案件5件）
- ・会議は、原則公開で行っています。（人事案件等非公開の場合あり。）

2 教育委員会会議以外の教育委員の活動状況

○意見交換会・懇談会

- 平成27年 4月 総合教育会議
平成27年 6月 総合教育会議
中学校区教育ミーティング（南浜，中之口）
- 平成27年 7月 区教育ミーティング（中央区，江南区）
中学校区教育ミーティング（東新潟，濁川，赤塚，坂井輪，鳥屋野，新津第一，大形）
- 平成27年 8月 区教育ミーティング（北区，東区，秋葉区，南区）
中学校区教育ミーティング（木崎）
- 平成27年 9月 区教育ミーティング（西区，西蒲区）
中学校区教育ミーティング（石山，曾野木）
- 平成27年10月 区教育ミーティング（中央区）
中学校区教育ミーティング（藤見，葛塚）
- 平成27年11月 区教育ミーティング（西区）
中学校区教育ミーティング（宮浦，内野，新津第二，白井，西川，白南，白新，関屋，中野小屋）
- 平成27年12月 区教育ミーティング（東区，南区）
中学校区教育ミーティング（両川）
- 平成28年 1月 小中学校PTA連合会との懇談会
区教育ミーティング（北区，江南区，秋葉区，西蒲区）
- 平成28年 2月 総合教育会議

- ・ 教育委員会と地域との連携強化，開かれた教育委員会を目指し，各区の自治協議会委員と区教育ミーティングを年2回行いました。また，各区3中学校区で中学校区教育ミーティングを行いました。
- ・ 平成27年4月の地教行法改正により必置とされた総合教育会議を年3回開催し，市長と教育委員会が教育施策の方向性を共有し，相互連携して執行にあたるため，両者が協議・調整を行いました。第2回会議において，新潟市教育の大綱（5ページ）が策定されました。

○市内視察

- 平成27年 6月 アグリパーク（教育施設）
- 平成27年 7月 江南小学校，亀田西小学校，升潟小学校（地域連携事業）
- 平成27年 9月 根岸小学校，立仏小学校，矢代田小学校，日和山小学校，両川中学校，鎧郷小学校（地域連携事業）
- 平成27年10月 木戸中学校，味方中学校（マイスター公開授業）
- 平成27年11月 新潟柳都中学校（地域連携事業），鳥屋野小学校（マイスター公開授業），新潟県立環境と人間のふれあい館（教育施設）
- 平成27年12月 和納小学校（地域連携事業），潟東南小学校，葛塚中学校（マイスター公開講座）
- 平成28年 1月 鏡淵小学校（地域連携事業）

17カ所の学校の視察を行い，実際の教育現場の状況を把握するようにしています。
また，視察の際は，教職員等と意見交換を行うなど，情報交換に努めています。

○行政視察（県外視察）

平成27年9月 埼玉県さいたま市

- ・さいたま市立与野南中学校（さいたま市教育課程研究指定校）

教職員の協働性を育みながら授業力を向上し、生徒のやる気・自信を高め、学習への満足感や達成感が味わえるシステムを構築・実施している。

・先進地の教育行政を参考にして、新潟市の教育行政に役立てるため、1年に一度、県外の行政視察を行っています。

・さいたま市教育委員会の先進的な取組である、教科を超えて交流できる授業力向上システムの実施状況を視察しました。

○指定都市教育委員・教育長協議会・他団体関係

平成27年5月 関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会・研修会

平成27年6月 第1回指定都市教育委員・教育長協議会

平成27年10月 新潟県都市教育長協議会 秋季定期総会

平成27年11月 都道府県・指定都市新任教育委員研究協議会

平成28年1月 第2回指定都市教育委員・教育長協議会

・指定都市教育委員・教育長協議会、新潟県都市教育長協議会に教育長が参加している他、その他連合会の研修等に教育委員も参加し、他指定都市や他市町村の教育委員とも積極的に情報交換をおこなっています。

○学校周年事業・卒業式等への教育委員の出席状況

平成27年7月 開校記念式典（日和山小学校）

平成27年10月 創立40周年記念式典（白根第一中学校，中之口西小学校，葛塚東小学校）

創立100周年記念式典（沼垂幼稚園），創立140周年記念式典（松野尾小学校）

閉校記念式典（潟東西小学校，潟東南小学校）

平成27年11月 創立140周年記念式典（越前小学校），閉校記念式典（潟東東小学校）

平成27年12月 創立40周年記念式典（西幼稚園）

平成28年3月 卒業式（万代高等学校，明鏡高等学校，高志中等教育学校，東特別支援学校，西特別支援学校）

○その他の出席

成人の日のつどい，小・中学校教員採用選考検査確認，市立学校園長全体研修会，教育フォーラム，市民フォーラム，市民大学入学式等

新潟市 教育の大綱

1 目指す子どもの姿・市民の姿

◎学力・体力に自信をもち、世界と共に生きる心豊かな子ども

◎生涯を通じて学び育つ、創造力と人間力あふれる新潟市民

2 取組の方針

—学・社・民の融合による教育の推進—

新潟市と新潟市教育委員会は、目指す子どもの姿、市民の姿の実現に向け、子どもは社会の宝であり、人材は地域の大切な財産であるとの基本的な考えのもと、連携して「子どもたちの育ち」と「市民の生涯にわたる学び」を支えるため、互いのもつ情報・知識の共有や資源の有効活用などを図りながら、学・社・民の融合による「人づくり」「地域づくり」「学校づくり」に次の3つの柱で総合的に取り組めます。

3 取組の柱

○自分の力に自信をもち心豊かな子どもを育む学校教育を推進します。

○創造力と人間力を高める生涯学習を推進します。

○自立し開かれた学びを支援します。

4 対象とする期間

平成27年度から平成31年度

平成27年6月8日

新潟市長



3 平成 27 年度の主な取組と成果

教育ビジョン後期実施計画の計画期間終了に伴い、平成 27 年度から 31 年度までの 5 か年を期間とした第 3 期実施計画を策定しました。平成 27 年度は、この計画に盛り込まれた施策を実施し、「学・社・民の融合による教育の推進」に引き続き取り組みました。

教育委員会の主な取組と成果は、次のとおりです。

① 教育ミーティングの本格実施

教育委員が区の特性や教育現場の実情を把握し、市全体の教育に活かすため、教育委員 2 人 1 組で 2 つの区を担当しました。

区担当教育委員の活動として、教育情報を地域に発信するとともに、地域の実情を把握するため、各区の自治協議会と意見交換を行う区教育ミーティングを各区で 2 回実施しました。

また、中学校区内のコミュニティ協議会、保護者等と意見交換を行う中学校区教育ミーティングを実施し、その中学校区内の教育の実情や取組などを共有し、地域と学校の連携を深め、地域全体で子どもを育てる気運の醸成を図りました。

② 学校適正配置の推進

子どもたちのより良い教育環境の確保を目指して策定された「学校適正配置基本方針」に基づき、複式学級や教室の不足が見込まれる緊急性の高い地域で「地域検討会」が設立されて協議を開始しています。

平成 29 年 4 月に満日小学校を阿賀小学校に編入すること、平成 30 年 4 月に太田小学校を葛塚東小学校に編入することを正式決定しました。

また、学校存続の要望のあった学校区のコミュニティ協議会と、情報交換等を行い、今後の学校のあり方について検討を継続しています。

③ 一貫教育の検討

新潟市にふさわしい一貫教育について検討するため、新潟市一貫教育推進協議会を発足させました。この会には、私立の幼稚園や公私立の保育園の各代表も参加し、就学前から義務教育終了までの一貫した教育について、全市民的な視野に立って協議しています。

また、下部組織として小中一貫教育部会と幼・保・小連携部会を設置し、それぞれの接続期を中心に、接続カリキュラムなどの作成に向けた課題検討を行いました。

④ 基礎・基本を身につける教育の推進

本市独自の単元評価問題の学校向け Web 配信を継続し、その結果や分析から、単元別の基礎的・基本的な知識・技能の習得状況を把握することで、

授業改善に役立てました。

また、放課後の時間を活用した学習支援環境を整備し、主体的に学ぶ意欲・態度を育成するとともに、大学生などの学習支援ボランティアを引き続き各校に配置するなど、児童生徒一人一人の学力実態の的確な把握と、きめ細かな指導に努めました。

⑤ 地域と学校パートナーシップ事業の充実

学・社・民の融合による教育を推進する取組として、「地域と学校パートナーシップ事業」を引き続き実施しました。事業に伴う、地域教育コーディネーターは273名、学校支援ボランティアの活動機会は延べ51,718回、延べボランティア数は258,822人となり、学校を中心とした地域コミュニティや地域の教育力の一層の向上が図られました。

また「地域と学校ウェルカム参観日」を市内16校で開催し、教育活動の公開、学校職員や参加者同士の交流を深めることで事業の周知と推進を図りました。

⑥ 農業体験学習の推進

学校の授業と農業体験を結びつけた「アグリ・スタディ・プログラム」を活用し、いくとびあ食花、アグリパーク、学校教育田などの教育ファームにおける農業体験学習を引き続き推進しました。この取組は市内すべての学校で行われており、小学校78校、中学校11校がアグリパークを利用しました。

また、農業体験学習がさらに実感の伴った確かな学びとなるよう、アグリ・スタディ・プログラム評価サポート委員会を3回開催しました。アグリパークの学習活動を参観し、改善すべき点を明確にして、12月に改訂版を発行しました。

⑦ 第31期新潟市社会教育委員会議建議について

第31期社会教育委員会議では、平成26年度から2か年にわたり、本市の今後の生涯学習施策の方向性として「新潟市の生涯学習のあるべき姿」について審議してきました。

本会議と小委員会を合わせて26回の審議を経て、平成28年3月に「新潟市の生涯学習のあるべき姿『ともに学び、育ち、創る』～ゆたかな新潟をめざして～」を建議し、教育長に提出しました。

建議には、新潟市教育ビジョンの生涯学習に関する施策を推進するため、「学・社・民の融合による人づくり、地域づくり」と「学習成果を生かす循環型生涯学習の推進」を基本方針に据え、「学習支援」「活動支援」「ネットワーク支援」「環境支援」を柱に、学習成果が地域に生かされるなど、学びが循環する生涯学習社会の振興に向けた様々な施策が提案されています。

建議に基づき、施策の推進と進行管理に努め、今後も「学・社・民の融合」による地域人材の育成と豊かな地域づくりに資する生涯学習施策に取り組んでいきます。

⑧ クロスパル開館 10 周年記念講演会（教育フォーラム）の実施

「クロスパルにいがた」開館 10 周年を記念し、生涯学習の一層の振興を図ることを目的に記念講演会を実施しました。

冒頭、10 周年の歩みを映像で振り返り、その後、クロスパル利用団体を代表し、合唱サークルが素晴らしい歌声を披露しました。

講演会では、元NHKアナウンサーの山根基世さんを講師に迎え、退職後に取り組んできた子どものことばを育む活動を例に、相手の言葉を聞き、心を理解することの大切さや、子どもの話す力を伸ばすためには、地域での触れ合いが大切なことなどについてお話しいただきました。

市長とのトークタイムでは、「ともに学び、育ち、創る～豊かな新潟を目指して」をテーマに、子どもが大人と空間を共にし、大人の振舞を見て成長することの有益性などについて意見を交換し、人づくりと地域のかかわりについて認識を深める機会となりました。

⑨ コミュニティ・コーディネーター育成講座の実施

地域課題の解決に必要な事業や地域のつなぎ役となるコミュニティ・コーディネーターの育成講座に全区で取り組み、延べ 211 人が参加しました。講座参加者から実践活動を行うグループが結成され、地域課題解決に向けた取組みを進め活動しています。また次年度においては、民間企業やNPO団体等とも連携しながら、若い世代を対象とした題材を取り上げ、新たな人材の育成にも取り組んでいきます。

⑩ 第二次新潟市子ども読書活動推進計画による読書活動の推進

平成 27 年 3 月に策定した第二次計画（平成 27～31 年度）に基づき、図書館をはじめ、家庭、保育園・幼稚園、学校、地域において、子どもの読書環境の整備を進めました。

ブックスタート事業や学校図書館の充実に努めたほか、新たな取組として、家族で一緒に読書を楽しむ「うちどく（家読）」の推進、子育て世代の図書館利用を促す「赤ちゃんタイム」の実施館拡大、学校図書館をより活用する学校図書館活用推進校の指定、特別支援学校の読書環境整備検討会の設置、図書館ホームページ内の「キッズページ」開設など、読書活動を推進するためにさまざまな取組を行いました。

II 新潟市教育ビジョンの施策評価について

新潟市教育ビジョンの平成27年度の実施状況について、有識者の知見を活用した評価を以下に示します。

1 平成27年度施策評価一覧

全施策の平均 4.23 (NEXT&NEWの平均 4.25)

○評価分布(評価対象51施策)

- ・目標を上回って達成…17.6%
- ・目標を概ね達成…72.5%
- ・目標をもう少しで達成…9.8%
- ・目標を下回った…0.0%
- ・目標を大きく下回った…0.0%

凡例
目標を上回って達成 … 5
目標を概ね達成 … 4
目標をもう少しで達成 … 3
目標を下回った … 2
目標を大きく下回った … 1

基本施策(13施策)	施策(54施策)		H27施策評価(後期進捗)	
	網掛…[NEXT]&[NEW]に該当する施策	☆…説明に取り上げる施策		
1 確かな学力の向上	1-1(1)	社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進 ☆	4.3	4.0
	1-1(2)	学び続ける資質・能力を育むキャリア教育の推進	4.3	
	1-1(3)	基礎・基本を身に付ける教育の推進 ☆	4.0	
	1-1(4)	アグリ・スタディ・プログラムの推進 ☆	4.0	
	1-1(5)	学習習慣の定着	4.0	
	1-1(6)	読書活動の推進と新聞活用の充実 ☆	3.5	
2 豊かな心と健やかな体の育成	2-1(1)	いのちの教育・心の教育の推進	4.0	4.2
	2-1(2)	一人一人の成長を促す生徒指導の推進 ☆	4.0	
	2-1(3)	体験活動・ボランティア活動の充実	4.0	
	2-1(4)	文化・芸術活動体験の推進	5.0	
	2-1(5)	体力づくりの推進	3.7	
	2-1(6)	健康づくりの推進	4.0	
	2-1(7)	食育の推進	4.6	
	2-1(8)	青少年の健全育成の推進	4.2	
3 創造性に富み、世界と共に生きる力の育成	3-1(1)	地域学習の充実	5.0	4.2
	3-1(2)	外国語教育・国際理解教育の充実 ☆	4.0	
	3-1(3)	情報教育の充実とICTを活用した教育の取組 ☆	3.7	
	3-1(4)	主体的な取組を促す環境教育の推進	4.3	
	3-1(5)	海外帰国・外国人児童生徒への教育の推進 ☆	4.0	
4 共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの推進	4-1(1)	子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進 ☆	5.0	5.0
	4-1(2)	特別支援教育のサポート体制の推進	5.0	
	4-1(3)	早期からの就学相談・支援の充実 ☆	5.0	
5 校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり	5-1(1)	新潟市にふさわしい小中一貫した教育の取組 ☆	4.0	4.5
	5-1(2)	幼児教育の充実と幼保小連携の推進 ☆	5.0	
6 人権を守り共に支え合う社会の推進	6-1(1)	人権教育、同和教育の推進、男女平等教育の推進	3.8	4.4
	6-1(2)	交流・体験活動の推進	5.0	
7 家庭教育の充実と子育て支援	7-1(1)	家庭教育充実への支援	4.0	4.3
	7-1(2)	子育て支援の充実	4.5	
8 生涯を通じて学び育つ学習機会の充実	8-1(1)	主体的な学習を支えるシステムづくり	4.0	4.7
	8-1(2)	学び育つ各世代への支援 ☆	5.0	
	8-1(3)	地域における生涯学習活動への支援	5.0	
9 地域と学校・社会教育施設が協働する教育の推進	9-1(1)	地域と共に歩む学校づくりの推進 ☆	4.5	4.3
	9-1(2)	広報広聴活動の推進	4.0	
	9-1(3)	学校・地域・NPO等の協働の推進	4.5	
	9-1(4)	高等教育機関及び企業との連携推進 ☆	4.7	
	9-1(5)	子ども・保護者・地域住民の学校運営への参画	4.0	
	9-1(6)	市民の生涯学習施設運営への参画	4.0	
10 学びのセーフティネットの構築に向けた取組の推進	10-1(1)	防災・安全教育の充実 ☆	4.0	4.0
	10-1(2)	保護者や地域と連携した安心な学校づくりの推進	4.0	
	10-1(3)	安全な学校施設	4.0	
	10-1(4)	学びを支援する体制の整備と充実 ☆	4.0	
11 学校教育・生涯学習環境の基盤整備	11-1(1)	効果的な指導を支援する施設設備の充実 ☆	4.0	4.0
	11-1(2)	コミュニティの拠点としての学校整備	4.0	
	11-1(3)	学校施設の整備	4.0	
	11-1(4)	生涯学習施設を核とした学習環境の整備	4.0	
12 市民に信頼される教育関係職員の育成	12-1(1)	教育関係職員の研修プログラムの充実 ☆	4.3	4.1
	12-1(2)	教職員への支援体制の充実	3.7	
	12-1(3)	信頼される教職員の採用・登用・配置	4.3	
	12-1(4)	教育関係職員の人事管理の適正化	4.0	
13 ニーズと課題に応える教育行政の創造	13-1(1)	新潟らしい教育改革の推進 ☆	4.0	4.0
	13-1(2)	効果的・効率的な執行体制の整備		
	13-1(3)	教育情報の収集と発信	4.0	
	13-1(4)	学校適正配置		
	13-1(5)	教育施策の管理と適切な評価	(5.0)	

2 主な施策・事業の評価状況

「NEXT」&「NEW」に該当する施策を取り上げています。

1 確かな学力の向上

1-（1） 社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進

主な事業・持続可能な開発のための教育(ESD)推進事業
・「アクティブ・ラーニング」による教育活動の推進

H27施策評価
4.3

【NEXT5】

○確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育む教育を進めます。

●施策の目標

指標1	ESDを自校の教育活動に位置付けている学校の割合(%)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
進捗状況	-	20.0	50.0				
指標1	「アクティブ・ラーニング」を実施した学校の割合(%)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
進捗状況	-	100.0	100.0				
指標3	放課後の学習支援をする中学校(校)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
進捗状況	-	56	56				
指標4	環境教育に関する実践的な取組を広報する(回)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
進捗状況	-	1.0	1.0				
指標5	環境教育事業の実施						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	/
進捗状況	-	実施	実施				

□ほとんどの学校が、「アクティブ・ラーニング」を取り入れた教育活動を実施した。

・指導主事が学校訪問を通じて「アクティブ・ラーニング」による学びの質や深まりを重視する授業を推進するよう働き掛けてきた結果、教職員一人一人に「アクティブ・ラーニング」を取り入れた教育活動実施への意識が高まってきた。

・数学28名、英語40名の学習支援員を選考・登録し、市内56中学校全校に配置した。生徒が熱心に学習し、学習意欲を高めている様子が多く見られた。

1-（3） 基礎・基本を身に付ける教育の推進

主な事業・学力実態調査 ・学習支援員派遣事業
・学力定着支援事業 ・理科大好きプロジェクト
・アフタースクール学習支援事業

H27施策評価
4.0

【NEXT5】

○確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育む教育を進めます。

●施策の目標

指標1	全国学力調査B問題(小6・国語)で全国平均を上回った児童の割合(%)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
進捗状況	61.6	61.7	61.9	62.0			
指標2	全国学力調査B問題(小6・算数)で全国平均を上回った児童の割合(%)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3
進捗状況	59.5	59.7	59.9	60.0			
指標3	全国学力調査B問題(中3・国語)で全国平均を上回った児童の割合(%)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
進捗状況	53.1	53.2	53.4	53.5			
指標4	全国学力調査B問題(中3・数学)で全国平均を上回った児童の割合(%)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	2
進捗状況	61.0	61.2	61.3	61.5			
指標5	児童質問紙「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」で、肯定的な回答をした児童(小6)の割合(%)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
進捗状況	83.1	84.0	84.5	85.0			
指標6	児童質問紙「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」で、肯定的な回答をした児童(小6)の割合(%)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
進捗状況	69.8	70.5	71.0	72.0			
指標7	生徒質問紙「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」で、肯定的な回答をした生徒(中3)の割合(%)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
進捗状況	79.1	80.0	80.5	81.0			
指標8	生徒質問紙「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」で、肯定的な回答をした生徒(中3)の割合(%)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
進捗状況	69.0	70.0	71.0	72.0			

□継続した授業改善の取組により、学力調査で、多くの児童生徒が全国平均を上回った。

・小中学校の国語、算数、数学のAB問題及び小学校理科において、全国学力・学習状況調査の全国平均正答率を上回り、児童生徒の学力は確実に向上した。

・教員の指導力向上を図るため、階層別の研修会や全国学力・学習状況調査の結果を基にした授業改善研修会の実施、指導主事学校訪問で授業改善について具体的な指導を行った結果、ほとんどの教科で学力が向上した。

・算数・数学の単元評価問題、解説、補充問題の配信を継続してきたことから、特に数学の学力が向上した。

・学校支援ボランティアでは、活動に携わる学生数は137名となっており、学校からは教育活動への高い貢献、学生からは、教育実習では得られない貴重な経験が得られたという声が寄せられた。

・理科支援員を40校に配置し、理科大好きシンポジウムと科学教室を総合教育センターにて開催した。

1-(4) アグリ・スタディ・プログラムの推進

主な事業 「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習の推進

H27施策評価

4.0

【NEXT5】

○確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育む教育を進めます。

●施策の目標

指標1	「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習を実施している小学校の割合(%)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
指標2	アグリ・スタディ・プログラム評価・サポート委員会によるプログラムの検証率(%)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
進捗状況	-	25.0	50.0	75.0	100.0	100.0	

□すべての小学校が「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習を実施した。

・すべての小学校が、教育ファーム(アグリパークや学校田等)を活用して、「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習を実施した。

・7月に評価・サポート委員会、年度末に「アグリ・スタディ・プログラム」推進委員による情報交換会を実施し、学校側、アグリパーク側で改善すべき点を明確にした。

1-(6) 読書活動の推進と新聞活用の充実

主な事業 ・学校図書館活用推進校事業 ・学校図書館支援センター事業
・学校図書館支援事業 ・新聞活用の推進

H27施策評価

3.5

【NEXT5】

○子どもの読書活動を推進するとともに、市民が自ら課題解決を図るための読書環境を充実していきます。

●施策の目標

指標1	学校図書館を活用した授業を「月に数回程度」行った小学校の割合(%)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
進捗状況	77.2	78.0	79.0	80.0	81.0	82.0	
指標2	学校図書館を活用した授業を「学期に数回程度」行った中学校の割合(%)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
進捗状況	55.1	56.0	57.0	58.0	59.0	60.0	
指標3	中学生の不読率(%)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
進捗状況	12.1	12.0	11.5	11.0	10.5	10.0	
指標4	ほぼ毎日新聞を読む中学生の割合が、全国平均を上回る(ポイント)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	1
進捗状況	2.7	2.8	2.8				

□多くの小・中学校で、学校図書館を活用した授業を実施した。

・小学校21校、中学校9校で「学校図書館活用推進校」事業を実施し、学校図書館を活用した探求型学習の取組を行った。

・4つの学校図書館支援センターが、すべての市立学校を訪問し、学校図書館の業務の相談に応じたり、司書研修を行ったりして、学校司書のスキルアップと業務の平準化を進めた。

・「新潟市新聞活用推進事業」に取り組み小・中学校指定校(8校)に新聞配備をし、新聞活用教育の実践を進めた。

2 豊かな心と健やかな体の育成

2-(2) 一人一人の成長を促す生徒指導の推進

主な事業 ・いじめ対策等生徒指導推進事業
・教育相談ネットワーク事業
・カウンセラー等活用事業

H27施策評価

4.0

【NEXT5】

○確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育む教育を進めます。

●施策の目標

指標1	新潟市生活・学習意識調査の「自律性」「社会性」にかかわる質問項目のうち、肯定的な回答が前年度の数値を上回った項目の割合(%)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
進捗状況	61.1	66.7	66.7				
指標2	小学校 いじめ解消率(%)※「解消率」…「解消」と「一定の解消」を合わせたものの割合						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
進捗状況	96.2	100.0	100.0			100.0	
指標3	中学校 いじめ解消率(%)※「解消率」…「解消」と「一定の解消」を合わせたものの割合						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
進捗状況	94.5	100.0	100.0			100.0	
指標4	小学校 不登校(30日以上欠席)発生率(%)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3
進捗状況	0.4	0.4	0.4				
指標5	中学校 不登校(30日以上欠席)発生率(%)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
進捗状況	2.7	2.7	2.6				

□不登校(30日以上欠席)発生率は、小学校が若干増加し、中学校は若干減少した。

・管理職、主任層を対象とした「自律性と社会性をはぐくむ生徒指導」説明会を実施し、新潟市が推進する生徒指導の考え方や体制・組織等の周知を図った。

・いじめ防止市民連絡協議会、いじめ防止対策等専門委員会を実施し、未然防止等に向けた取組や具体的な事案への対応の検討等を行った結果、問題の解消を図ることができた。

・区教育支援センター、教育相談センター、訪問教育相談員、区教育相談室などの関係機関で不登校に関する情報を共有し、不登校の未然防止に向けた意識を高めた。

3 創造性に富み、世界と共に生きる力の育成

3-(2) 外国語教育・国際理解教育の充実

- 主な事業 ・外国語指導助手(ALT)配置事業
 ・国際交流事業
 ・外国語教育支援事業

H27施策評価
4.0

【NEW5】

○世界とともに生き創造性を発揮する新潟の子どもや市民の育成を目指し、コミュニケーション能力向上とICT活用への取組を進めます。

●施策の目標

指標1	新潟市生活・学習意識調査(小6)で「外国語活動の勉強が好き」と回答した児童の割合(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	74.5	75.0	75.0				
進捗状況		73.8					
指標2	新潟市生活・学習意識調査(中3)で「外国語活動の勉強が好き」と回答した生徒の割合(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	56.0	56.5	56.5				
進捗状況		54.6					

「外国語活動の勉強が好き」と回答した児童生徒数が若干減少した。

・すべての市立学校にALTを配置するとともに、ALTへの研修会を計画的に実施し、外国語活動及び外国語の授業の充実を図った。

・海外からの児童生徒の受け入れ、新潟市の児童生徒の海外派遣等の国際交流推進事業を通して、児童生徒の異文化理解が深まった。

・外国語教育推進リーダー研修受講者が、各校の校内研修を推進したり、地区開催の研修会の講師を務めたりして、教員の英語指導力の向上に貢献した。

3-(3) 情報教育の充実とICTを活用した教育の取組

- 主な事業 ・タブレット等ICT活用研修(教職員研修)

H27施策評価
3.7

【NEW5】

○世界とともに生き創造性を発揮する新潟の子どもや市民の育成を目指し、コミュニケーション能力向上とICT活用への取組を進めます。

●施策の目標

指標1	コンピュータ等(タブレットPCを含む)の情報通信技術を活用して、子どもが学び合う協働学習や課題解決型の学習指導を実施した小学校教職員の割合(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3
指標目標	65.7	66.6	66.6			70.0	
進捗状況		60.3					
指標2	コンピュータ等(タブレットPCを含む)の情報通信技術を活用して、子どもが学び合う協働学習や課題解決型の学習指導を実施した中学校教職員の割合(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	50.0	51.0	51.0			55.0	
進捗状況		50.0					
指標3	「アクティブ・ラーニング」の実施した学校の割合(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	100.0	100.0	100.0				
進捗状況		95.0					

小・中学校の教職員の半数以上が情報通信技術を活用した協働学習や課題解決型の学習指導を実施した。

・教職員を対象にタブレット等ICT活用研修を開催した結果、ICTを積極的に活用した授業づくりが見られるようになってきた。

・タブレット端末活用事例、情報モラルの指導例等の資料を各校に配付し、その活用を促した。

3-(5) 海外帰国・外国人児童生徒への教育の推進

- 主な事業 ・日本語指導協力者派遣事業
 ・外国人児童生徒への支援体制の整備

H27施策評価
4.0

【NEW5】

○世界とともに生き創造性を発揮する新潟の子どもや市民の育成を目指し、コミュニケーション能力向上とICT活用への取組を進めます。

●施策の目標

指標1	日本語指導協力者の指導により、日常会話ができるようになった子どもの割合(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	87.5	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	
進捗状況		81.8					

海外帰国・外国人児童生徒の8割以上が日本語の日常会話ができるようになった。

・日本語指導協力者をのべ489回、母語のわかる支援員をのべ15回派遣し、指導した結果、海外帰国・外国人児童生徒の日本語の上達と学校生活の円滑な適応につながった。

4 共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの推進

4-（1）子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進

主な事業・インクルーシブ教育システム構築の推進事業

H27施策評価
5.0

【NEW5】

○共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの構築に向けた取組を始めます。

●施策の目標

指標1	各年度内に特別支援教育に関する公的研修を受講した教員(幼・小・中・高)(人)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
進捗状況	1,200	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	
進捗状況		1,616					

特別支援教育に関する公的研修を1,600名以上の教員が受講した。

・「特別支援教育管理職研修」「合理的配慮セミナー」等を年間を通して実施した。外部講師を招聘しての最先端の内容を企画したことで、多くの受講者から有意義な研修だったとの声が寄せられた。

4-（3）早期からの就学相談・支援の充実

主な事業・早期からの就学支援の推進

H27施策評価
5.0

【NEW5】

○共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの構築に向けた取組を始めます。

●施策の目標

指標1	入学支援ファイルの活用件数(年度ごとの数)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
進捗状況	250	300	350				
進捗状況		331	0				

小学校新入学生の「入学支援ファイル」の活用が広まってきた。

・就学前の支援情報を学校に引き継ぐための連携ツール「入学支援ファイル」の提出数は、331名となり、活用が広まってきた。

5 校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり

5-（1）新潟市にふさわしい小中一貫した教育の取組

主な事業・小中一貫教育パイロット事業
・学校間連携推進事業

H27施策評価
4.0

【NEW5】

○未来の新潟を担う子どもたちの生きる力の育成のため、校種間の連携をさらに進めます。

●施策の目標

指標1	小中一貫教育推進協議会						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	/
進捗状況	-	発足	3				
指標2	新規パイロット事業実施中学校数(延べ数)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	/
進捗状況	-	-	4	8	12	16	
指標3	学び方等、共通の取組を設定した中学校(校区数)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
進捗状況	-	56	56				
進捗状況		55					

新潟市のすべての子どもたちに対し、民間も含めて就学前から義務教育終了までの一貫した教育への取組を進める体制ができた。

・一貫教育推進協議会とその構成組織である小中一貫教育部会と幼・保・小連携部会が設置され、新潟市の子どもたちに対して民間も含めて就学前から義務教育終了までの一貫した取組を進める体制ができた。

・幼・保・小連携部会において、接続カリキュラムづくりに向けた現状と課題を共有した。

・すべての中学校区において、小中連携推進のための連絡協議会等を開催し、共通の課題などについて協議し、連携を深めた。

5-(2) 幼児教育の充実と幼保小連携の推進

主な事業 ・幼保小連携推進事業
 ・幼保小合同研修会

H27施策評価
5.0

【NEW5】

○未来の新潟を担う子どもたちの生きる力の育成のため、校種間の連携をさらに進めます。

●施策の目標

指標1	幼稚園・保育園との連携の充実を図り、小学校への円滑な接続を図るための教育懇談会を実施した小学校の割合(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標	-	10.0	95.0			100.0	
進捗状況		90.0					
指標2	接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている小学校の割合(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標	-	10.0	40.0			70.0	
進捗状況		30.0					
指標3	接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている市立幼稚園の割合(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標	-	27.3	90.0			100.0	
進捗状況		81.2					
指標4	隣接する小学校区における、幼稚園、保育園、小学校等の職員を交えた研究保育を年間複数回実施した市立幼稚園の割合(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標	-	18.1	63.6			90.9	
進捗状況		54.5					

□ほとんどの小学校が、幼稚園・保育園の連携を図るための教育懇談会を開催した。

・幼・保・小の円滑な接続・連携のあり方についての研修会を実施することで、関係者の連携推進に向けた意識を高めることができた。

・幼保小合同研修会において、公私の幼・保と小学校の接続カリキュラムの編成についての現状と課題について協議した。

8 生涯を通じて学び育つ学習機会の充実

8-(2) 学び育つ各世代への支援

主な事業 ・にいがた市民大学開設事業 ・現代的課題を学ぶ公民館事業
 ・学習成果を発表する場の提供 ・子どもの読書環境の整備
 ・子どもが読書に親しむ機会の充実
 ・仕事やくらしの課題解決のための情報提供事業

H27施策評価
5.0

【NEXT5】

○子育てや各世代の学びに対する支援に努め、地域の教育力の活用を推進します。

●施策の目標

指標1	にいがた市民大学の受講率(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標	84.5	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	
進捗状況		122.5					
指標2	現代的課題を学ぶ事業の実施						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	/
指標目標	-	実施	実施				
進捗状況		実施					
指標3	文化祭・芸能祭等の実施						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	/
指標目標	-	実施	実施				
進捗状況		実施					
指標4	児童書の貸出冊数(冊)12歳以下の子ども1人あたり						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標	12.1	12.2	12.4	12.6	12.8	13.0	
進捗状況		13.1					
指標5	レファレンス受付件数(件)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標	69,600	72,000	72,800	73,500	74,200	75,000	
進捗状況		83,157					

□市民の学習活動の場の確保に努めた。

・にいがた市民大学は、専門性の高い講座や時代の変化、市民の学習ニーズに対応した講座を合計5講座開設した。

・「第二次新潟市子ども読書活動推進計画」に基づき、記念講演会、ブックスタート事業、「赤ちゃんタイム」、図書館ホームページへのキッズページの新設等を実施したことにより、子どもを取り巻く読書環境の整備が進んだ。

・ビジネス関連事業では、関係団体と連携しながら、起業・経営相談会やビジネス支援セミナー、行政書士無料相談会などを開催し、くらしや仕事の課題解決支援に当たった。

9 地域と学校・社会教育施設が協働する教育の推進

9-(1) 地域と共に歩む学校づくりの推進

主な事業 ・地域と学校パートナーシップ事業
 ・ふれあいスクール事業
 ・公民館出前型事業

H27施策評価
4.5

【NEXT5】

○学・社・民の融合による教育を推進します。

●施策の目標

指標1	1校あたりの学校支援ボランティア(延べ人数)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標	1,210	1,240	1,270	1,300	1,330	1,360	
進捗状況		1,531					
指標2	ふれあいスクール週当たり開催(日数)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	1.93	2.00	2.10	2.20	2.30	2.50	
進捗状況		1.97					
指標3	土曜プログラムモデル実施校数(校)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	-	4	4				
進捗状況		4					
指標4	公民館出前型事業の実施校数(校)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標	66	66	67				
進捗状況		72					

□すべての市立学校に配置された地域教育コーディネーターが地域と共に歩む学校づくりを推進した。

・市立の全校に配置された地域教育コーディネーターの資質向上を図るため研修会を実施した。また、一般市民に事業趣旨の理解や参画意欲の醸成を図るため、地域と学校ウェルカム参観日を16校で実施した。

・ふれあいスクールの土曜日における体験活動や学習の機会提供のためのプログラムを開発し、「土曜プログラム集」としてまとめて、ふれあいスクール実施校に配付した。

9-(4) 高等教育機関及び企業との連携推進

主な事業・高等教育機関活用推進事業
・図書館と教育機関・企業との連携・協力

H27施策評価

4.7

【NEW5】

○学校や公民館・図書館などにおいて、多様なニーズに応じた学習機会の充実を図るため、企業や民間団体と連携する取組を始めます。

●施策の目標

指標1	高等教育機関からの専門的な情報提供、指導等を受けている教育課題(課題)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	1	2	3				
進捗状況		2					
指標2	にいがた市民大学の受講率(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標	84.5	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	
進捗状況		122.5					
指標3	連携・協力の実施状況(連携事業数)(件)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標	9	9	9	9	9	9	
進捗状況		11					

高等教育機関・企業等と連携・協力し、多様なニーズに応じた学習機会を提供した。

・文部科学省の研究指定を受け、障がいのある生徒を対象に、効果的に能力・才能を伸ばすことができるよう、各教科・科目の授業改善に努めた。

・新潟大学附属図書館、県立図書館との配本ネットワーク「めぐるくん」を実施し、市民への幅広い資料提供に努めた。

10 学びのセーフティネットの構築に向けた取組の推進

10-(1) 防災・安全教育の充実

主な事業・「防災教育」学校・地域連携事業(ふるさと新潟防災教育推進事業)

H27施策評価

4.0

【NEW5】

○ニーズと課題に迅速に対応できる教育行政のシステムづくりと学びのセーフティネットの整備を進めます。

●施策の目標

指標1	「防災教育」学校・地域連携事業指定校数(校・累計)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	8	34	68	102	136		
進捗状況		34					

「防災教育」学校・地域連携事業の34指定校で、小中学校及び地域と連携した自校化プログラムを作成した。

・「防災教育」学校・地域連携事業の指定校(34校)において、地域と連携した自校化プログラムを作成した。また、地域と連携した防災の取組を報告書にまとめ、市内小中学校に配付した。

10-(4) 学びを支援する体制の整備と充実

主な事業・就学援助事業
・奨学金貸付事業(高校～大学院)
・社会人奨学金貸付事業

H27施策評価

4.0

【NEW5】

○ニーズと課題に迅速に対応できる教育行政のシステムづくりと学びのセーフティネットの整備を進めます。

●施策の目標

指標1	就学援助制度の保護者への周知率(%)小学校						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	100.0	100.0	100.0			100.0	
進捗状況		100.0					
指標2	就学援助制度の保護者への周知率(%)中学校						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	100.0	100.0	100.0			100.0	
進捗状況		100.0					
指標3	奨学生(高校～大学院)の採用率(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	100.0	100.0	100.0				
進捗状況		100.0					
指標4	奨学生(社会人)の採用率(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	100.0	100.0	100.0				
進捗状況		100.0					
指標5	ふれあいスクール過当たり開催(回数)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	1.9	2.00	2.10	2.20	2.30	2.50	
進捗状況		1.97					
指標6	土曜プログラムモデル実施校数(校)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	-	4	4				
進捗状況		4					
指標7	放課後の学習支援をする中学校(校)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	-	56	56				
進捗状況		56					

就学援助事業、奨学金貸付事業を着実に実施し、保護者や採用者に対しての経済的負担の軽減を図った。

・就学援助制度について、私立学校も含めすべての小・中学校の保護者に案内を配付し、認定者16,485名の保護者に対して、学用品費や給食費等の一部を援助し、経済的負担の軽減を図った。

・高等学校・大学等の進学者で奨学金を申請した94名のうち、88名が選考基準を満たして採用を決定した。そのうちの辞退者2名を除く86名に貸付を実施し、高等教育の機会均等を図った。

・社会人対象の奨学金を申請した2名に対し、採用を決定し、キャリアアップを目指す社会人学生に対して経済的支援を行った。

11 学校教育・生涯学習環境の基盤整備

11-1 効果的な指導を支援する施設設備の充実

主な事業 ・学校ICT環境整備事業
・教育ネットワーク構築事業

H27施策評価

4.0

【NEW5】

○世界とともに生き創造性を発揮する新潟の子どもや市民の育成を目指し、コミュニケーション能力向上とICT活用への取組を進めます。

●施策の目標

指標1	タブレット型コンピュータを整備した小・中学校の割合(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	5.0	34.0	68.0	→	100.0	100.0	
進捗状況		34.0					
指標2	教育ネットワークの構築						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	/
指標目標	-	調査・研究	調査・研究	計画策定	開発	稼働	
進捗状況		調査・研究					

学校内のコンピュータ教室用の端末等機器、校内LAN用コンピュータ、教職員用コンピュータの更新を計画通りに実施した。

・学校ICT環境整備事業の計画に基づき、端末等機器の更新を確実に実施した。

・教育ネットワーク構築についての調査・研究を実施し、システム等の構築に向けた今後の課題及び検討事項について明確にすることができた。

12 市民に信頼される教育関係職員の育成

12-1 教育関係職員の研修プログラムの充実

主な事業 ・教育関係職員の研修プログラムの一層の充実
・学社民融合研修の推進

H27施策評価

4.3

【NEXT5】

○市民から信頼される学校・教育機関となるよう、人材の育成と職場の環境整備を進めます。

●施策の目標

指標1	各研修講座における受講者の満足度と活用度(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標	80.0	80.0	85.0	→			
進捗状況		87.6					
指標2	マイスター養成塾修了者(人)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	102	102	108	→	114	→	
進捗状況		103					
指標3	学社民融合研修会の実施(回)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	7	7	7	→			
進捗状況		7					

研修プログラムの改善により、講座受講者の満足度が目標を上回った。

・受講者アンケートや懇談会などの意見を基に研修講座の新設・拡充に努めた結果、研修後の受講者満足度が87.6パーセントとなり、目標を大きく上回った。

・パートナーシップ事業研修会に学社民融合支援主事が参加して、公民館の取組の紹介等の情報交換をしたことにより、118校(70パーセント)の学校で、公民館と協働事業を実施した。

13 ニーズと課題に応える教育行政の創造

13-1 新潟らしい教育改革の推進

主な事業 ・区教育ミーティングの開催
・中学校区教育ミーティングの開催

H27施策評価

4.0

【NEW5】

○ニーズと課題に迅速に対応できる教育行政のシステムづくりと学びのセーフティネットの整備を進めます。

●施策の目標

指標1	区教育ミーティングの開催(回)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	16	16	16	→			
進捗状況		16					
指標2	中学校区教育ミーティングの実施回数(累計中学校区数)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	8	32	56	→			
進捗状況		32					

教育委員が担当区の区教育ミーティングや中学校区教育ミーティングに参加し、地域や中学校区の取組・課題を把握した。

・担当区の教育ミーティングの概要を教育委員全員で共有し、施策決定の場では地域の声を踏まえた検討が行われた。

・中学校区教育ミーティングでは、各中学校区の取組や課題について意見交換をし、「地域の子どもは地域で育てる」という意識の醸成を図ることができた。

3 教育ビジョン推進委員からの主な質問・意見・要望と教育委員会の対応

施策1－(1) 「社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進」

○ 文部科学省も知識と思考力の双方をバランスよく育てていくことを強く押し出してきているが、高校入試や高校大学接続ということを考えた場合、どうしても知識のほうにウエイトがかかるかと思う。その点について市教育委員会としては、どのような対応もしくは取組をしているのか。

⇒ 知識の確かな獲得は、子どもたちの主体的な学習活動を通じて、初めて成し遂げられると考えている。そういった意味で、子どもたちが自ら学ぶといったアクティブ・ラーニングを取り入れた授業を展開するように、各学校に対して指導している。また、高校入試については、近年、学校独自検査のなかで思考力や知識活用力を問う問題が導入されてきている。大学入試も同様の方向に向かっている。したがって、市教育委員会が、現在、推し進めているアクティブ・ラーニングを重視する事業展開は、時代に対応していると考えている。

施策1－(4) 「アグリ・スタディ・プログラムの推進」

○ アグリパークの施設規模の関係で大規模校が利用しにくいこともあるかと思うが、その大規模校へはどのように対応しているのか。

⇒ 宿泊を伴わない場合は1回で大人数が利用可能。宿泊が伴う場合でも70人までは宿泊可能なので、一学年を複数回に分けて宿泊体験学習をするといった例が出てきている。これらの事例を大規模校にも紹介して今後の活用を奨励していきたい。

施策1－(6) 「読書活動の推進と新聞活用の充実」

○ 「新潟市新聞活用推進事業」では、配備された新聞をどのように活用しているのか、また、新聞は複数紙が配備されているのか。

⇒ NIE推進校では、社会科の時間で「これからの食料生産」という単元を学習した後にTPPに関連した新聞記事を調べる、道徳の時間に新聞のコラムについて考えるといったように、新聞を使った授業を積極的に展開している。また、新聞は普通紙3紙を配備している。

施策2－(2) 「一人一人の成長を促す生徒指導の推進」

○ 不登校は、複合的要因により発生する。中には児童生徒本人を取り巻く家庭環境等に課題を抱えていることが要因となっている場合もある。そのようなとき、SSW（スクールソーシャルワーカー）の活用は、課題解決に向けて大きな可能性を秘めている。市教育委員会では、SSWを始めとして関係機関との連携について、どのような取組を行っているのか。

⇒ 家庭環境の改善など、教職員だけではなかなか対応できない状況のとき、SSWの活用が有効であるので、今年度はSSWを1名増員し、全部で3名体制で事案に当たっている。また、市では、適応指導教室や訪問相談員のシステムが大変よく機能しているので、引き続き、活用を図っていくとともに、福祉関係の機関とも積極的に連携をしていきたい。

施策5－(1) 「新潟市にふさわしい小中一貫した教育の取組」

○ 施策名の中の「新潟市にふさわしい」という語句についての具体的説明をお願いしたい。

⇒ 政令市という大きな市になったことにより、本市は、都市部から農村部まで、様々な地域の特色を内在するようになった。また、中学校区内の小中学校の配置状況も、1小1中から最大4小1中までの組み合わせがあり、それぞれの中学校区に特徴がある。「新潟市にふさわしい」とは、「これらの多様な特色や特徴を活かす」という意味である。

施策5－(2) 「幼児教育の充実と幼保小連携の推進」

○ 指標1、指標2は共に、進捗状況評価が5.0となっており、幼・保の連携や小学校との円滑な接続を目指した取組の成果があがっているように見える。ただし、もともと両指標の目標数値がかなり低かったためこのような高い評価になったともいえる。平成27年度の指標の目標数値設定の経緯について、もう少し知りたい。

⇒ 両指標とも前年度にはない新しい指標であったので、目標数値を設定した時点ではあまり情報がなく、低めの設定となった。しかし、結果は、かなりのよい数値となった。これらの指標は、毎年、前年度の実績を踏まえながら、次年度の目標数値を設定していく形式なので、平成28年度以降は、より実態を踏まえた指標目標数値の設定をしていきたい。

施策9－(1) 「地域と共に歩む学校づくりの推進」

○ 施策9-(1)「地域と共に歩む学校づくりの推進」は、今期教育ビジョンの基本的考え方である「学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくり」につながる中心的な施策だと先ほど説明があった。この施策をもっとダイナミックに確実に有効性のあるものしていくためには、学社民融合支援主事と地域教育コーディネーターとの連携・役割がとても大きいと思うが、現状はどうなっているか。

⇒ 学・社・民の融合については、地域と学校パートナーシップ事業を中心に推進している。その事業において全学校に配置している地域教育コーディネーターと公民館の学社民融合支援主事、図書館職員が参加して、市全体での研修会を年2回実施している。また、区ごとに集まって、顔の見える関係づくりや研修計画の情報交換なども行っている。今後も両者及び関係機関の職員との連携を深める取組を充実させていきたい。

施策10－(1) 「防災・安全教育の充実」

○ 各校の防災担当者と地域教育コーディネーターが、コミュニティ協議会などの地域と連携して「防災教育」の自校化プログラムを作成するのだと思うが、コミュニティ協議会と小学校とのつながりが強く、中学校とは少し距離があるように感じる。中学生は、日常的に校区内におり、体も大きく、力や判断力もあるので、ぜひ、その能力を活用してほしい。

⇒ 自校化プログラムは、中学校区単位で地域を巻き込んで作成している。したがって、防災訓練の際などは、中学生の力を活かした取組も実施されている。また、地域と学校パートナーシップ事業で、中学生が地域貢献活動として地域防災に参加している事例も増えてきている。着実に「防災教育」の自校化プログラムは根付いてきているととらえている。

施策12－(1) 「教育関係職員の研修プログラムの充実」

- 教育関係職員の研修プログラムが年々充実してきて、参加者の満足度も高い傾向にある。そして、さらに自分を高めようと、特別支援教育士のような民間研究団体が認定する資格の取得に挑戦する教育関係職員も出てきた。この資格取得については、時間的、費用的に個人負担が大変大きい。自治体によっては、認定に必要な研修を行政の研修プログラムの中に一部組み込んでいるところもある。市教育委員会としては、このような意欲のある教育関係職員へどのようなサポートを行っているのか。
⇒ 特別支援教育に関する研修については、研修ニーズが非常に高く、総合教育センターで可能な限り、それに応えられるように研修講座を組んでいる。また、特別支援教育サポートセンターでは、通常、遠隔地で行われている資格取得のための研修が、新潟市内で行われる場合に、学校へのメール配信で周知を行っている。

施策12－(2) 「教職員への支援体制の充実」

- 先生方は、「読書活動の推進」「新聞活用の充実」「体力づくりの推進」「情報教育の充実とICTを活用した教育の取組」など、子どもに対して行うことがたくさんある。そうすると、教職員の多忙さの解消というのが大切になってくる。現場の先生方の健康が何よりも大事で、その上で新しい教育の充実もして行ってほしい。このあたりのバランスは難しいと思うが、市教育委員会で行っている多忙化解消の取組の現状を説明願いたい。
⇒ 学力向上や新しい教育内容への取組、さらにはいじめ・不登校の対応など、現在の教職員には非常に大きな負担がかかっており、多忙化解消の取組は大変重要であると認識している。そこで、取組の一つとして、子どもと向き合う時間を週5時間確保するという指標を設定し、そのための業務のIT化、行事や諸会議の精選などに各学校から取り組んでもらった。平成22年度末に指標を達成した教職員は、約26パーセントだったが、現在では65.8パーセントまであがってきている。ただし、ここ数年間は、この数値周辺で推移している。さらなる向上のために、学年別ノー残業デー取得など、各学校で効果のあった取組を集約して、各校に情報提供し、多忙化解消に向けての「1校1取組」を進めているところである。

参考資料 新潟市教育ビジョン推進委員会平成27年度施策評価経過

No.	開催会議等	開催年月日	協議内容等
1	第29回推進委員会	平成27年 2月9日(月)	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度主要事業について 教育ビジョン第3期実施計画について
2	第31回推進委員会	平成27年 10月27日(火)	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度施策実施状況について(中間評価)
3	第33回推進委員会	平成28年 6月2日(木)	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度施策評価について

新潟市教育ビジョン推進委員会（第5期）委員名簿

任期：平成26年4月1日～平成28年3月31日

(50音順)

No.	氏名	所属
1	石坂 学	鳥屋野中学校長
2	岩田 すみ江	山田小学校長
3	大宮 一真	新潟市小中学校PTA連合会会長
4	高橋 文子	新潟県生涯学習協会事務局長
5	中村 恵子	新潟青陵大学看護福祉心理学部教授
6	松下 久美子	公募委員
7	宮藺 衛	新潟大学教育学部教授

新潟市教育ビジョン推進委員会（第6期）委員名簿

任期：平成28年4月1日～平成30年3月31日

(50音順)

No.	氏名	所属
1	小林 利花子	公募委員
2	高橋 恒彦	東新潟中学校長
3	高橋 文子	新潟県生涯学習協会事務局長
4	田中 一昭	新潟市小中学校PTA連合会副会長
5	中村 恵子	新潟青陵大学看護学部教授
6	畠山 典子	関屋小学校長
7	松井 賢二	新潟大学教育学部教授

議案第16号

平成29年度使用新潟市立高等学校用教科用図書採択について

平成29年度使用新潟市立高等学校用教科用図書採択について，議決を求める。

平成28年8月29日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

1 平成29年度使用新潟市立万代高等学校用教科用
図書推薦一覧

平成29年度新潟市立万代高等学校用教科書図書推薦理由

〈第1部〉

種 目	発 行 者		教 科 書		教 科 書 名	需 要 型 お よ び 学 年		推 薦 理 由
	番 号	略 称	記 号	番 号				
国語総合	15	三省堂	国総	336	高等学校国語総合 現代文編〔改訂版〕	普通科 英語理数科 英語コース 英語理数科 理数コース	1年 1年 1年	教材が多彩で基礎から発展学習まで効果的に行える。
国語総合	15	三省堂	国総	337	高等学校国語総合 古典編〔改訂版〕	普通科 英語理数科 英語コース 英語理数科 理数コース	1年 1年 1年	内容が多彩でかつ誌面が見やすい。特に、漢文の入門の解説がわかりやすい。
現代文B	143	筑摩	現B	315	精選 現代文B	普通科 英語理数科 英語コース 英語理数科 理数コース	2年 2年 2年	評論分野に論理的思考力を涵養する教材が使用され、図版などを使用した解説があり、より理解を図れる。
現代文B	143	筑摩	現B	315	精選 現代文B	普通科 英語理数科 英語コース 英語理数科 理数コース	3年 3年 3年	昨年購入 継続使用 評論分野に論理的思考力を涵養する教材が使用され、図版などを使用した解説があり、より理解を図れる。
古典B	104	数研	古B	314	古典B 古文編	普通科 英語理数科 英語コース 英語理数科 理数コース	2年 2年 2年	教材数の多さに加え、人物・話題等の関連が取れていて理解が広がる。
古典B	104	数研	古B	314	古典B 古文編	普通科 英語理数科 英語コース 英語理数科 理数コース	3年 3年 3年	昨年購入 継続使用 教材数の多さに加え、人物・話題等の関連が取れていて理解が広がる。
古典B	104	数研	古B	315	古典B 漢文編	普通科 英語理数科 英語コース 英語理数科 理数コース	2年 2年 2年	相互に関連する題材が多く、理解が深まる。
古典B	104	数研	古B	315	古典B 漢文編	普通科 英語理数科 英語コース 英語理数科 理数コース	3年 3年 3年	昨年購入 継続使用 相互に関連する題材が多く、理解が深まる。
世界史A	46	帝国	世A	314	明解 世界史A	普通科 英語理数科 英語コース 英語理数科 理数コース	1年 1年 1年	写真・地図が多く、特に地図が工夫されている。
世界史B	81	山川	世B	310	詳説 世界史 改訂版	普通科 英語理数科 英語コース	3年 3年	最新の研究成果が導入されている上、歴史的事項が細かく整理され、流れもとらえ易い。
地理A	46	帝国	地A	308	高等学校 新地理A	普通科 英語理数科 理数コース	2年 2年	旅行感覚の切り口の導入部分により、生徒が理解しやすく、内容が安定している。
地理A	46	帝国	地図	310	新詳高等地図	普通科 英語理数科 理数コース	2年 2年	地図が明確で見やすい。
地理B	46	帝国	地B	304	新詳地理B	普通科 英語理数科 理数コース	3年 3年	最新の事象に関する写真・統計などが充実している。

平成29年度新潟市立万代高等学校用教科書図書推薦理由

〈第1部〉

種 目	発 行 者		教 科 書		教 科 書 名	需 要 型 お よ び 学 年		推 薦 理 由
	番 号	略 称	記 号	番 号				
地理B	46	帝国	地図	310	新詳高等地図	普通科 英語理数科 理数コース	3年 3年	昨年購入 継続使用 地図に関する情報が充実している。
日本史B	81	山川	日B	309	詳説日本史 改訂版	普通科 英語理数科 英語コース	2年 2年	内容の充実・バランスが良く、世界史的に時代を概観するページや、文化財の図版が大きく見やすくなったため。
現代社会	7	実教	現社	314	高校現代社会 新訂版	普通科 英語理数科 理数コース	2年 2年	最新の事例も写真・統計等を使用し掲載されているため。
政治・ 経済	35	清水	政経	306	高等学校 現代政治・経済 最新版	普通科 英語理数科 英語コース 英語理数科 理数コース	2年 2年 3年	内容が豊富で、最新の事例も多く掲載されている。
倫理	35	清水	倫理	308	高等学校 新倫理 新訂版	普通科 英語理数科 英語コース 英語理数科 理数コース	3年 3年 3年	「人間とは何か」「いかに生きるべきか」といった倫理の課題を各単元ごとにわかりやすくまとめてあり、構成のバランスが非常によい。
数学 I	104	数研	数 I	328	改訂版 高等学校 数学 I	普通科 英語理数科 英語コース	1年 1年	問題数が多く、基礎基本が身に付く。
数学 II	104	数研	数 II	310	高等学校 数学 II	普通科 英語理数科 英語コース	2年 2年	問題数が多く、基礎基本が身に付く。
数学 III	104	数研	数 III	309	高等学校 数学 III	普通科	3年	問題のタイプが充実しており、生徒の力に合わせた授業展開が可能である。
数学 A	104	数研	数 A	328	改訂版 高等学校 数学 A	普通科 英語理数科 英語コース	1年 1年	問題数が多く、基礎基本が身に付くため。
数学 B	104	数研	数 B	310	高等学校 数学 B	普通科 英語理数科 英語コース	2年 2年	基本的な概念や原理・法則について体系的な理解を深めることができるよう、既習事項との接続に工夫がある。
化学	104	数研	化学	306	化学	普通科	2年	「化学基礎」の復習事項や関連事項などが記載されていて、内容もわかりやすく、より理解を深められる配置である。
化学	104	数研	化学	306	化学	普通科	3年	昨年購入 継続使用 「化学基礎」の復習事項や関連事項などが記載されていて、内容もわかりやすく、より理解を深められる配置である。

平成29年度新潟市立万代高等学校用教科書図書推薦理由

〈第1部〉

種 目	発 行 者		教 科 書		教 科 書 名	需 要 型 お よ び 学 年		推 薦 理 由
	番 号	略 称	記 号	番 号				
化学基礎	104	数研	化基	319	改訂版 化学基礎	普通科 英語理数科 英語コース	1 年 2 年	実験などの写真が豊富で、わかりやすく配置されており、生徒が理解しやすいように工夫されている。また、「発展」や「参考」なども多くあり、より深い理解を促すことができる。
生物	104	数研	生物	303	生物	普通科	3 年	内容がわかりやすく、発展事項も扱っている。
生物基礎	104	数研	生基	316	改訂版 生物基礎	普通科 英語理数科 英語コース	2 年 2 年	復習事項や関連事項などが記載されていて、内容もわかりやすく、より理解を深められる配置である。
物理	104	数研	物理	304	物理	普通科	2 年	「物理基礎」の復習事項や関連事項などが記載されていて、内容もわかりやすく、より理解を深められる配置である。
物理	104	数研	物理	304	物理	普通科	3 年	昨年購入 継続使用 「物理基礎」の復習事項や関連事項などが記載されていて、内容もわかりやすく、より理解を深められる配置であるため。
物理基礎	104	数研	物基	319	改訂版 新編 物理基礎	普通科 英語理数科 英語コース	1 年 1 年	問題数が多く、基礎基本が身に付く。
保健体育	50	大修館	保体	304	現代高等保健体育 改訂版	普通科 英語理数科 英語コース 英語理数科 理数コース	1 年 1 年 1 年	図やイラストを多く使用し、見開き2ページで完結する内容となっている。
保健体育	50	大修館	保体	304	現代高等保健体育 改訂版	普通科 英語理数科 英語コース 英語理数科 理数コース	2 年 2 年 2 年	昨年購入 継続使用 図やイラストを多く使用し、見開き2ページで完結する内容となっているため、生徒が理解しやすい教科書であると判断したため。
音楽Ⅰ	27	教芸	音Ⅰ	310	MOUSA1	普通科 英語理数科 英語コース 英語理数科 理数コース	1 年 1 年 1 年	興味関心を抱かせる教材が幅広く盛り込まれている。
音楽Ⅱ	27	教芸	音Ⅱ	303	MOUSA2	普通科	3 年	Ⅰとの繋がりが持ちやすく、教材力のある楽曲が盛り込まれている。

平成29年度新潟市立万代高等学校用教科書図書推薦理由

〈第1部〉

種 目	発 行 者		教 科 書		教 科 書 名	需 要 型 お よ び 学 年	推 薦 理 由
	番 号	略 称	記 号	番 号			
音楽Ⅲ	27	教芸	音Ⅲ	302	Joy of Music	普通科 3年	幅広い分野が収録され、能力や興味関心に基づき表現を深めるのに最適である。
書道Ⅰ	6	教図	書Ⅰ	306	書Ⅰ	普通科 英語理数科 英語コース 1年 英語理数科 理数コース 1年	図版が大きく、生徒が手本として観るのに適している。課題として選択している文字も良い。
書道Ⅱ	6	教図	書Ⅱ	302	書Ⅱ	普通科 3年	学習を深めるための文字資料、解説が充実している。
書道Ⅲ	6	教図	書Ⅲ	302	書Ⅲ	普通科 3年	書道Ⅱの学習を更に発展させられる内容であり、文字資料、解説が充実している。
美術Ⅰ	38	光村	美Ⅰ	304	美術1	普通科 英語理数科 英語コース 1年 英語理数科 理数コース 1年	分野別に整理され、幅広く内容が盛り込まれている。
美術Ⅱ	38	光村	美Ⅱ	301	美術2	普通科 3年	1からステップアップし1と2を合わせて充実した資料がそろっている。
美術Ⅲ	38	光村	美Ⅲ	301	美術3	普通科 3年	表現や鑑賞をより深め、生涯を通して美術にかかわっていくことのできる内容である。
コミュニケーション英語Ⅰ	15	三省堂	コⅠ	333	CROWN English Communication I New Edition	普通科 1年 英語理数科 理数コース 1年	内容が多彩かつ生徒の興味関心を引く構成となっており、英語学習に必要な効果的活動が実践しやすい。
コミュニケーション英語Ⅱ	50	大修館	コⅡ	312	Genius English Communication II	普通科 2年 英語理数科 理数コース 2年	1年次コミュニケーション英語Ⅰからの継続構成、内容が視覚化、図式化され日本語が少ないなど英語による授業展開が図り易い。
コミュニケーション英語Ⅲ	50	大修館	コⅢ	310	Genius English Communication III	普通科 3年 英語理数科 理数コース 3年	内容が視覚化・図式化され、日本語が少ないなど、英語で教えることを基本とした作りになっており科目の趣旨を反映させた授業展開が図りやすい。
英語会話	61	啓林館	英会	303	Sailing English Conversation	普通科 3年	コミュニケーション能力を育成するのに適した構成である。

平成29年度新潟市立万代高等学校用教科書図書推薦理由

〈第1部〉

種 目	発 行 者		教 科 書		教 科 書 名	需 要 型 お よ び 学 年		推 薦 理 由
	番 号	略 称	記 号	番 号				
英語表現Ⅰ	9	開隆堂	英Ⅰ	319	EXPRESSWAYS English Expression Ⅰ	普通科 英語理数科 理数コース	1年 1年	内容が多彩かつ生徒の興味関心を引く構成となっており、実践的な英語学習を通して表現力、内容理解、文法を総合的に学べる。
英語表現Ⅱ	61	啓林館	英Ⅱ	307	Vision Quest English Expression Ⅱ	普通科 英語理数科 理数コース	2年 2年	1年次英語表現Ⅰからの継続 文法を軸とし表現活動の展開が容易な構成であり英作文やT.Tでも活用できる。
英語表現Ⅱ	17	教出	英Ⅱ	304	New ONE WORLD Expressions Ⅱ	普通科 英語理数科 理数コース	3年 3年	昨年購入 継続使用 文法や機能ごとに簡潔にまとめられておりT.T等の活動も導入しやすいため。
家庭基礎	6	教図	家基	312	新家庭基礎 今を学び 未来を描き暮らし をつくる	普通科 英語理数科 英語コース 英語理数科 理数コース	1年 1年 1年	家庭生活を社会の観点から 見つめ、ポイントがわかりやす くまとめられている。
フードデザイン	6	教図	家庭	307	フードデザイン cooking&arrangement	普通科	3年	家庭基礎からのつながりがあり、 実験実習も適切に選択されている。
社会と情報	104	数研	社情	315	社会と情報 Next	普通科 英語理数科 英語コース 英語理数科 理数コース	1年 1年 1年	社会人として必要な情報モ ラルが初めに学習でき、デジ タル情報・情報通信ネット ワーク・問題解決の構築等段 階的に、基礎的な知識がバ ランスよく学習できる。視覚的 にも見やすく、効率よく学習 に取り組むことができる。
情報テクノロジー	7	実教	情報	304	情報テクノロジー	普通科	3年	ハードウェア、ソフトウェア 各方面からコンピュータを捉 えており、多様な角度からの 学習が可能である。
情報メディア	7	実教	情報	306	情報メディア	普通科	3年	メディアと情報社会の側面 から捉えられており、多様な 角度からの学習が可能であ る。
簿記	7	実教	商業	339	高校簿記 新訂版	普通科	3年	図解や説明が充実しており、 理解しやすい内容である、 また、巻末に記帳演習問題 もあり、演習を取り入れた 授業展開が可能である。

2 平成29年度使用新潟市立明鏡高等学校用教科用 図書推薦一覧

平成29年度新潟市立明鏡高等学校用教科用図書推薦理由

<第1部>

種目	発行者の		教科書の記号・番号	教科書名	需要類型 及び学年	推薦理由
	番号	略称				
国語総合	50	大修館	国総 347	新編国語総合 改訂版	普通科 午前部 (1年次) 夜間部 (1年次)	B5版で現代文編・古典編が1冊にまとまっており、挿絵・写真がカラーで読みやすく、学習のポイントがわかりやすい。生徒が取り組みやすい評論が多く取り入れられている。入門編から本格的な内容に移行しやすい構成になっている。
国語表現	17	教出	国表 301	国語表現	普通科 午前部 (2~4年次) 夜間部 (2~4年次)	言語活動についての記述が丁寧かつわかりやすい。視覚的にも生徒の興味関心をひくレイアウトとなっている。また、演習問題も身近な題材を用いており取り組みやすい。
現代文A	17	教出	現A 302	現代文A 青春文学名作選 一歴史の中の青春	普通科 午前部 (2~4年次) 夜間部 (3~4年次)	高校在学中に生徒に読ませたい著名な文学者の作品が収められている。小説教材が多く、生徒に興味関心を抱かせる内容となっている。
現代文B	15	三省堂	現B 305	明解現代文B	普通科 午前部 (2~4年次) 夜間部 (2~4年次)	教材との関連が図られた言語活動が工夫されている。生徒が主体的な読書活動ができるよう「読書案内」の項目が設けられている。評論、小説、随筆、詩などがバランスよく収録されている。
古典A	109	文英堂	古A 303	説話(古今著聞集・沙石集・十訓抄・竹取物語) 随筆(徒然草・枕草子・方丈記・常山紀談・花月草紙・蘭東事始) 故事・小話 漢詩 史話	普通科 午前部 (2~4年次) 夜間部 (3~4年次)	高等学校の古典教材としてふさわしく親しみやすいもの、古文に対する興味・関心を育み持続させうるもの、当代の世態・人情に迫ることのできるものを選んで構成されている。各ジャンルのバランス、難易度も適当である。
古典B	2	東書	古B 301	新編古典B	普通科 午前部 (2~4年次)	古典としての古文と漢文を読む能力を基礎から発展へと充実させるために適した教材が、さまざまな時代・ジャンルからバランスよく採録されている。生徒の興味を喚起し、教材の理解を促す点から効果的な資料性の高いカラー写真・図版が、教材中や単元扉に適切に掲載されている。
世界史A	35	清水	世A 313	高等学校 世界史A 新訂版	普通科 午前部 (2~4年次)	生徒が世界史学習に興味・関心を持ち、世界史の基本的な知識や技能を習得できるよう、必要かつ十分と思われる事項を平易な文章で丁寧に記述してある。学習の要点や課題を疑問文の形で示し、理解を助ける工夫をしている。写真などの図版を豊富に掲載し、それらを読み取りながら考察を深めることができるよう、解説文なども工夫し、生徒の多様な関心・個性に対応している。
世界史A	46	帝国	世A 314	明解世界史A	普通科 夜間部 2年次	平易な文章に加え、地図・写真が充実している。また、人物・物・食などの特集が組まれ生徒の興味関心を引く題材が豊富である。

平成29年度新潟市立明鏡高等学校用教科用図書推薦理由

<第1部>

種目	発行者の		教科書の記号・番号	教科書名	需要類型 及び学年	推薦理由
	番号	略称				
世界史B	7	実教	世B 309	世界史B 新訂版	普通科 午前部 (3~4 年次)	図・写真が多く、生徒がイメージ豊かに学習できる。世界史Aで学習した内容を発展的に学習できる。
日本史A	35	清水	日A 310	高等学校 訂版 日本史A 新	普通科 午前部 (1~4 年次) 普通科 夜間部 (3~4 年次)	記述がコンパクトで、歴史の見方、考え方を身につけさせやすい。写真・グラフなどが豊富であり、最新の研究成果や多様な視点が採り入れられている。
日本史B	35	清水	日B 306	高等学校 新版 日本史B 最	普通科 午前部 (2~4 年次) 普通科 夜間部 (2~4 年次)	各節は2~4ページで1つのテーマとなっている。各テーマに疑問文で学習目標が提示されており、学習しやすい。写真・グラフなどが豊富であり、最新の研究成果や多様な視点が採り入れられている。
地理A	130	二宮	地A 309	基本地理A	普通科 午前部 (1・ 3・4年次) 夜間部 (1年 次)	豊富な写真や取り上げているテーマ・トピックスが新鮮で、地理を基礎から楽しく学べ高校生の学習意欲を喚起させやすく、1年を通して地理を学習するにあたり適切な分量である。
地理B	130	二宮	地B 305	新編 詳解地理B 改訂 版	普通科 午前部 (2~4 年次) 夜間部 (2~4 年次)	写真・図表・コラムなど、資料が充実しており、紙面はワイドで見やすい。系統・地誌とも基本的な知識を体系的に整理しつつ、全分野・全地域を取り上げて地誌を充実させている。環境の多様性や最新の国際情勢を具体的な資料から、生徒にとって視覚的にもわかりやすい。
地図	130	二宮	地図 304	高等地図帳	普通科 午前部 (1・ 3・4年次)	一般図が豊富な地図帳で、広範囲を見渡せる地図から、要所を拡大して見る地図まで、さまざまなスケールでの地図学習ができる。世界の一般図がより見やすく、授業で一般図を多く使う生徒がわかりやすく読み取れる。
地図	130	二宮	地図 312	基本地図帳 改訂版	普通科 夜間部 (1年 次)	大きな図版でみやすく、図などもわかりやすい。地図帳を身近に感じることができる工夫があり、生徒が学習に取り組みやすい。
現代社会	7	実教	現社 315	最新現代社会 新訂版	普通科 午前部 (3年 次) 夜間部 (3年 次)	図・写真が多く生徒が理解しやすい。身近な例や時事問題が多く、生徒の学習意欲を喚起する工夫がある。特に現代社会の諸相についてわかりやすく解説されている。
倫理	35	清水	倫理 307	高等学校 新版 現代倫理 最	普通科 夜間部 (3~4 年次)	抽象概念や形式的思考操作についての記述が立体的で理解しやすく、用語解説に終始しない工夫が充実し、生徒を触発へと導く配慮がなされている。

平成29年度新潟市立明鏡高等学校用教科用図書推薦理由

<第1部>

種目	発行者の		教科書の記号・番号	教科書名	需要類型 及び学年	推薦理由
	番号	略称				
倫理	35	清水	倫理 308	高等学校 新倫理 新訂版	普通科 午前部 (2~4 年次)	生徒が東西の先哲の思考や生き方を学ぶことができるように、先哲の思想が育まれた背景、風土や時代についてもていねいに記述している。現代の倫理的課題について、生徒が主体的に思考していく姿勢を培うように工夫している。本文記述と関連の深い写真、主要な思想家のコラム、原典資料、表などを豊富に掲載して理解しやすい。
政治・経済	7	実教	政経 304	最新政治・経済	普通科 午前部 (2~4 年次) 夜間部 (3~4 年次)	図・写真が多く生徒に分かりやすい。身近な例や時事問題が多く、授業が導入しやすい。特に経済理論がわかりやすく解説されている。
数学Ⅰ	2	東書	数Ⅰ 319	改訂 新数学Ⅰ	普通科 午前部 (1年 次) 夜間部 (1年 次)	B5版で説明箇所カラーを多く使い、ポイントとなる点もわかりやすい。P.62の平行移動の説明では、色を使うことで視覚から取り入れやすいものになっている。教科書の最初に小・中学校の復習を取り入れているので、生徒もスムーズに高校の授業に取り組めるようになっている。
数学Ⅱ	2	東書	数Ⅱ 303	新数学Ⅱ	普通科 午前部 (2~4 年次) 夜間部 (2~4 年次)	B5判で文字が大きく、カラフルで見やすい。各セクションの冒頭にはねらいが書かれており、また、覚えなくてはならない事項が目立つようにまとめられている。具体的な数値を使った説明が多く取り入れられており、理解しやすい構成となっている。
数学Ⅲ	7	実教	数Ⅲ 314	高校数学Ⅲ	普通科 午前部 (3~4 年次)	復習しながら新しい内容へと移行できる形になっている。基本問題から発展問題まで取り組みやすい構成になっている。
数学A	2	東書	数A 319	改訂 新数学A	普通科 午前部 (1~4 年次) 夜間部 (2~4 年次)	B5版で説明の際にカラーを多く使い、ポイントとなる点もわかりやすい。各章の導入に、日常で扱うものを取り入れており、整数の分野でも細かな説明がされているので、初めて学ぶ生徒も取り組みやすい。
数学B	2	東書	数B 302	新編数学B	普通科 午前部 (3~4 年次) 夜間部 (3~4 年次)	生徒が少しでも理解を深められるよう、色を多く使うことで覚えなければいけないポイントがわかりやすい。問題の難易度も、基本的なものから発展的なものまで扱っているので、生徒の状況に応じた学習が可能である。
数学活用	7	実教	数活 301	数学活用	普通科 午前部 (2~4 年次) 夜間部 (2~4 年次)	B5判で文字が大きく、カラフルで見やすい。また教科書本文の内容とともに、各節末にある附録が充実しており、数学や考えることのおもしろさに生徒が気づくための工夫が施されている。
科学と人間生活	183	第一	科人 309	高等学校 改訂 科学と人間生活	普通科 午前部 (2年 次) 夜間部 (2年 次)	わかりやすい図が多く、生徒が興味関心を持てる内容がうまくまとめている。現在の科学技術まで発展する過程を示す資料が多く、理解しやすい。

平成29年度新潟市立明鏡高等学校用教科用図書推薦理由

<第1部>

種目	発行者の		教科書の記号・番号	教科書名	需要類型 及び学年	推薦理由
	番号	略称				
物理基礎	7	実教	物基 314	高校物理基礎 新訂版	普通科 午前部 (1~4 年次) 夜間部 (3~4 年次)	B5の見開きに図と文章がきれいにまとめられているため、読みやすい。身近な現象と関連付けた分かりやすい図が多く、生徒の理解に役立つ。演習問題の難易度が生徒の実態に即しており、取り組みやすい。
化学基礎	7	実教	化基 317	高校化学基礎 新訂版	普通科 午前部 (1年 次) 夜間部 (1年 次)	図と文のレイアウトが工夫されているため、読みやすい。また、文章が見開きで完結しているため、単元ごとの理解が容易である。巻末の物質ピックアップなどに身近な物質をわかりやすくまとめてあり、初めて化学を学ぶ生徒にとって見やすくなっている。
化学	2	東書	化学 302	新編化学	普通科 午前部 (2~4 年次)	中学校の学習事項から丁寧に展開されており、基礎的・基本的事項の確実な理解や習得につながる。くらしや社会と化学をつなげる工夫がなされており、学習意欲を高めるのに役立つ。
生物基礎	7	実教	生基 314	高校生物基礎 新訂版	普通科 午前部 (1~4 年次) 夜間部 (2~4 年次)	導入から発展までの流れがスムーズで無理がなく、生徒の理解に役立つと考えている。発展的な内容については、本文と明確に分けて記載されているため、個々の生徒に合わせた使い方が可能である。
地学基礎	183	第一	地基 310	高等学校 改訂 地学基礎	普通科 夜間部 (3~4 年次)	B5版で、見開きに図と文章がきれいにまとめられているため、読みやすい。導入から発展までの流れがスムーズで無理がなく、生徒の理解に役立つと考えている
保健体育	50	大修館	保体 304	現代高等保健体育改訂版	普通科 午前部 (1年 次) 夜間部 (1年 次)	ポイントを絞った理解しやすい内容である。また、図表の説明もわかりやすく、それらを用いた授業展開が可能である。
音楽Ⅰ	17	教出	音Ⅰ 307	音楽Ⅰ 改訂版 Tutti	普通科 午前部 (1~4 年次) 夜間部 (2~4 年次)	歌いやすく良い曲が多いため、生徒が意欲的に学習に取り組める。楽譜が見やすく、色覚特性を踏まえた、読みやすい配色や表示の工夫がされている。
音楽Ⅱ	17	教出	音Ⅱ 301	音楽Ⅱ Tutti	普通科 午前部 (2~4 年次) 夜間部 (3~4 年次)	曲の構成がわかりやすい等、生徒が理解しやすい曲が多い。また、楽譜が見やすく、学習の手助けとなる巻末資料が豊富である。
音楽Ⅲ	17	教出	音Ⅲ 301	音楽Ⅲ	普通科 午前部 (3~4 年次) 夜間部 (4年 次)	音楽Ⅰ・Ⅱと同じ出版社の教科書で継続性を考慮した。楽譜が見やすく、生涯学習にもつながる多様な曲が掲載されている。

平成29年度新潟市立明鏡高等学校用教科用図書推薦理由

<第1部>

種目	発行者の		教科書の記号・番号	教科書名	需要類型 及び学年	推薦理由
	番号	略称				
美術Ⅰ	116	日文	美Ⅰ 305	高校生の美術1	普通科 午前部 (1~4 年次) 夜間部 (2~4 年次)	図版が大きくて、文章も分かりやすく、生徒が関心を持って学習に取り組める内容になっている。また、映像メディア表現や、環境問題を考慮したデザイン等の現代的な題材、日本美術についても積極的に取り上げられている。
美術Ⅱ	116	日文	美Ⅱ 302	高校美術2	普通科 午前部 (2~4 年次) 夜間部 (3~4 年次)	図版が多く、解説が充実しているため、生徒が興味を持って授業に取り組める。さらに画材を専門的に説明、解説しているなど、生徒にとって理解しやすい。
美術Ⅲ	116	日文	美Ⅲ 302	高校美術3	普通科 午前部 (3~4 年次) 夜間部 (4年 次)	図版も多く解説が充実しているため、理解しやすい。作家の紹介等の内容が充実していて、その作家の独自性や表現、制作方法を学ぶことができる。
工芸Ⅰ	116	日文	工Ⅰ 301	工芸Ⅰ	普通科 午前部 (1~4 年次)	図版が大きくて、文章も分かりやすく、生徒が関心を持って学習に取り組める内容になっている。また、多種多様な工芸品を取り上げ、工芸制作における技法を細かく紹介しつつ、それらの工芸品が暮らしの中でどのように活用されているかにいたるまで解説してある。
工芸Ⅱ	116	日文	工Ⅱ 301	工芸Ⅱ	普通科 午前部 (2~4 年次)	図版が多く、解説が充実しているため、理解しやすい。さらに、演習の内容では制作工程を写真等でわかりやすく解説している。
書道Ⅰ	38	光村	書Ⅰ 308	書Ⅰ	普通科 午前部 (1~4 年次) 夜間部 (2~4 年次)	古典がA4版見開きカラー・原寸大で掲載され、古典の特徴をわかりやすく解説してある。字形や用筆の基礎・基本を理解しやすい形態である。
書道Ⅱ	6	教図	書Ⅱ 302	書Ⅱ	普通科 午前部 (2~4 年次) 夜間部 (3~4 年次)	鮮明で美しい図版が多数掲載され、個々の古典の解説もわかりやすく生徒が取り組みやすい内容である。また書の変遷についても年表や地図でまとめられており、時代や周辺文化との関わりも理解しやすい。
書道Ⅲ	6	教図	書Ⅲ 302	書Ⅲ	普通科 午前部 (3~4 年次) 夜間部 (4年 次)	書道Ⅰ・Ⅱでも同じ出版社の教科書を使用しているため、継続的な学習が可能である。ことばと書の関係について深く学習するために創作過程が段階的・具体的に示されており、生徒が主体的に取り組める内容である。
コミュニケーション英語Ⅰ	2	東書	コⅠ 328	All Aboard! English CommunicationⅠ	普通科 夜間部 (3~4 年次)	コミュニケーション活動につながる、生徒の興味・関心の高い題材で構成されている。文法が視覚的に提示され、理解しやすい。基礎・基本が系統的に学習できる構成になっており、英語が苦手な生徒にも適している。

平成29年度新潟市立明鏡高等学校用教科用図書推薦理由

<第1部>

種目	発行者の		教科書の記号・番号	教科書名	需要類型 及び学年	推薦理由
	番号	略称				
コミュニケーション英語Ⅰ	15	三省堂	コⅠ 335	VISTA English Communication I New Edition	普通科 午前部 (1年次) 夜間部 (1年次)	B5版で読みやすく、カラー写真が多く使用されているため、生徒に興味関心を持たせ学習意欲を高めることができる。文法の説明が易しくわかりやすい。ポイントとなる点もわかりやすい。
コミュニケーション英語Ⅰ	50	大修館	コⅠ 337	Compass English Communication I Revised	普通科 午前部 (2~4年次)	生徒の興味・関心を引く身近で楽しい題材で構成されており、様々な話題を通じて、異文化への理解が高められる。中学の復習から段階的に学習でき、英語が苦手な基礎基本の定着を目指す生徒に適している。
コミュニケーション英語Ⅰ	109	文英堂	コⅠ 346	New Edition Grove English Communication I	普通科 午前部 (2~4年次)	生徒の興味・関心を引く題材で構成されている。文法項目が無理なく段階を追って配列されており、やさしい問題の反復練習で確実に文法事項が身につけやすいため、文法が苦手な生徒に適している。
コミュニケーション英語Ⅰ	177	増進堂	コⅠ 322	NEW STREAM English Communication I	普通科 夜間部 (4年次)	生徒の興味・関心を引く題材を取り扱っている。英語が苦手な生徒でも、英語で情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を養うことができるような構成となっている。
コミュニケーション英語Ⅱ	15	三省堂	コⅡ 308	VISTA English Communication II	普通科 午前部 (2~4年次) 夜間部 (2~4年次)	コミュニケーション活動につながる、生徒の興味・関心の高い題材で構成されている。文法が視覚的に提示され、理解しやすい。基礎・基本が系統的に学習できる構成になっており、本校の生徒に適している。1年次必修のコミュニケーション英語Ⅰでも同シリーズの教科書を使用しているため、継続的な学習が可能である。
英語表現Ⅰ	15	三省堂	英Ⅰ 325	SELECT English Expression I New Edition	普通科 午前部 (1~4年次)	生徒にとって身近な話題を多く扱っている。イラストも効果的に盛り込まれ、英語の文法イメージをつかみながら学習できる。
英語表現Ⅰ	17	教出	英Ⅰ 326	NEW ONE WORLD Expressions I Revised Edition	普通科 夜間部 (4年次)	生徒の興味・関心を引く題材で構成されており、様々な話題を通じて、英語の表現力が高められる。文法項目は、中学の復習から配列されており、基本文法、基本構文の定着を目指す生徒に適している。
英語表現Ⅱ	183	第一	英Ⅱ 314	Vivid English Expression II	普通科 午前部 (3~4年次)	英語による表現力、コミュニケーション能力の定着と向上のため、英語表現Ⅰでの既習事項も復習的に取り上げている。英語で答える問題では、生徒が英語に触れ、積極的に英語を用いる機会が豊富に設定されている。
英語会話	2	東書	英会 301	Hello there! English Conversation	普通科 午前部 (1~4年次)	生徒にとって、興味深く身近な話題を通して、言語や文化について理解を深めることができる内容になっている。

平成29年度新潟市立明鏡高等学校用教科用図書推薦理由

<第1部>

種目	発行者の		教科書の記号・番号	教科書名	需要類型 及び学年	推薦理由
	番号	略称				
英語会話	15	三省堂	英会 302	SELECT English Conversation	普通科 夜間部 (3~4 年次)	身近な話題を中心に、生徒がよく使う場面での会話表現が選ばれている。基本表現を段階を追って繰り返し学習できる構成になっており、理解しやすい。
家庭総合	6	教図	家総 302	家庭総合 とともに生きる 明日をつくる	普通科 午前部 (1~2 年次) 夜間部 (1年 次)	本文の表現が易しく、わかりやすい図も多いため、内容を理解しやすい。
社会と情報	116	日文	社情 307	見てわかる社会と情報	普通科 午前部 (2年 次) 夜間部 (2年 次)	1つの用語を具体例やイラストを交えて1ページでわかりやすく解説しており、生徒にとって親しみやすい。
商業	7	実教	商業 306	新簿記	普通科 午前部 (1~4 年次) 夜間部 (2~4 年次)	A4版で説明が分かりやすく、また、帳票が大変見やすく、記帳手順が細かく記載されているので、初めて学ぶ生徒にとってわかりやすい。
商業	7	実教	商業 313	ビジネス実務	普通科 午前部 (1~4 年次) 夜間部 (2~4 年次)	授業で取り扱う「オフィス実務」「ビジネスと珠算」の内容が豊富である。また、実際のビジネスの場면을イメージしやすいようにイラストも充実しており、理解しやすい。
商業	7	実教	商業 315	商品開発	普通科 午前部 (1~4 年次) 夜間部 (3~4 年次)	商品開発に必要な過程をわかりやすく説明している。また、実際の企業の事例が豊富でイメージしやすい。
商業	7	実教	商業 326	ビジネス経済応用	普通科 午前部 (4年 次) 夜間部 (3~4 年次)	各ページに事例やグラフなどの資料が載せてあるため、経済をはじめ学ぶ生徒でもイメージしやすい内容となっている。
商業	7	実教	商業 327	経済活動と法	普通科 午前部 (2~4 年次) 夜間部 (4年 次)	難しい法律を図や具体的事例、わかりやすい解説等で丁寧に説明されており、初めて法律を学ぶ生徒にとって理解しやすい。
商業	7	実教	商業 331	電子商取引	普通科 午前部 (3~4 年次) 夜間部 (3~4 年次)	実習問題で使用されているソフトウェアも本校と同じため使いやすい。また、作業手順も写真等を用いて細かく記載されており、生徒にとってわかりやすい。

平成29年度新潟市立明鏡高等学校用教科用図書推薦理由

<第1部>

種目	発行者の		教科書の記号・番号	教科書名	需要類型 及び学年	推薦理由
	番号	略称				
商業	190	東法	商業 344	情報処理 新訂版	普通科 午前部 (2~4 年次) 夜間部 (3~4 年次)	基礎・基本を重視した内容ではあるが、高度な内容も取り扱っており、理解力に応じた幅広い対応が可能である。
家庭 (専門)	7	実教	家庭 301	フードデザイン	普通科 午前部 (2~4 年次) 夜間部 (2~4 年次)	イラスト、写真が大きく載っており生徒の興味を引くレイアウトになっている。特に調理の基本操作はページを多くとっており、理解しやすい。
家庭 (専門)	7	実教	家庭 305	子どもの発達と保育	普通科 午前部 (3~4 年次) 夜間部 (4年 次)	イラストや図が豊富でわかりやすい。写真も多く、オールカラーで理解を深めやすい。

議案第 17 号

平成 29 年度使用新潟市立高志中等教育学校後期課程用教科用図書採択について

平成 29 年度使用新潟市立高志中等教育学校後期課程用教科用図書採択について，議決を求める。

平成 28 年 8 月 29 日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

平成29年度使用新潟市立高志中等教育学校
後期課程用教科用図書推薦一覧

平成29年度新潟市立高志中等教育学校後期課程用教科用図書推薦理由

<第1部>

種目	発行者の		教科書の記 号・番号	教科書名	需要類型及 び学年	推薦理由
	番号	略称				
国語総合	183	第一	国総 360	高等学校 改訂版 国語総合	全：1年	現代文では、大学受験に対応できる作品を多く採用している。古典では、基礎的事項から積み上げて学習することができる。
現代文B	183	第一	現B 317	高等学校 現代文B	全：2年	評論文では、大学受験に対応できる、難度度の高い作品が多く所収されている。小説では、心情表現豊かな作品や、生命について考えさせる作品が多く、生徒に様々な考えを想定させてくれることが考えられる。
古典B	183	第一	古B 322	高等学校 古典B 古文編	全：2年	受験の知識として必要な文法事項や文学史が学べる作品が多く所収されている。作品のジャンルも、物語から歌論まで幅広く、生徒に様々な知識や思想を広げさせることが期待できる。また和歌を含む作品も数多く、センター試験の対策も、この教科書で十分にできる。
古典B	183	第一	古B 323	高等学校 古典B 漢文編	全：2年	受験の知識として必要な句法や重要漢字が学べる作品が多く所収されている。また「史記」や「十八史略」など古代中国の歴史に興味を持ち、面白く読み進められる作品もあることから、生徒の知識欲を刺激することが期待できる。
世界史A	81	山川	世A 316	世界の歴史 改訂版	全：1年	ビジュアル面が充実してわかりやすく前近代史・近現代史の内容がバランスよく記載され、かつ受験にも対応できる充実した記載内容であり、授業用・自学用としてわかりやすいと同時に世界史Bへの連携もスムーズにできる。
世界史B	81	山川	世B 304	詳説世界史	人文：2年	詳しい事項説明があり、歴史学の最新の研究成果も叙述に取り入れられている。授業においても、また家庭での自主学習で生徒が調べて学習することにも最適のものである。大学受験のためにも十分対応できる。
日本史B	81	山川	日B 309	詳説日本史 改訂版	人文・日本史：2年	記述内容が詳細であり、授業はもちろん、自学自習することにも適している。また、図版や映像もカラーで豊富に掲載されていて利用しやすい。また、そのデータを利用するソフトもあり、教材の作成も行いやすい。

平成29年度新潟市立高志中等教育学校後期課程用教科用図書推薦理由

<第1部>

種目	発行者の		教科書の記 号・番号	教科書名	需要類型及 び学年	推薦理由
	番号	略称				
地理B	46	帝国	地B 304	新詳地理B	人文・地 理：2年 理工：2年 生物：2年	図版・表・グラフが充実し、わかりやすい内容であると同時に、大学受験にも対応できる記載内容である。地図との対照もよくできるので授業での使用がしやすい。
地図	46	帝国	地図 310	新詳高等地図	人文・地 理：2年 理工：2年 生物：2年	大学進学に必要な図表、グラフが多く盛り込まれ、地図も見やすく利用しやすい内容になっている。
現代社会	183	第一	現社 321	高等学校 改訂版 現代社会	全：1年	現代社会と人間としてのあり方生き方に関する記載内容が適切であり、図、資料なども豊富で、わかりやすさへの配慮もなされている。また、学習内容定着のための、ケーススタディ、スキルアップなどの「単元まとめ」も充実しており、生徒が取り組みやすい内容となっている。
倫理	35	清水	倫理 308	高等学校 新倫理 新訂版	人文：2年	思想学習において、歴史的な関連性をもった構成で、思想の背景や時代・風土などと関連させた記述、構成がされており、生徒に理解しやすく、かつ深い思考につながりやすい内容となっている。小論文対策など、さまざまな学習展開も期待できる内容になっている。
数学I	104	数研	数I 310	数学I	全：1年	中高一貫校として6年間で全国に通ずる学力を身につけさせるという特性から、難易度も適当であり例題と問いのギャップが少なく、授業の進度を維持しながら習熟度に合わせて問題補充しやすい。
数学II	104	数研	数II 309	数学II	全：1年	前年度までに学習した数学I Aと比べて、難易度も上がるので例題、応用例題と段階別の問題が分かりやすく分けて記載されており、解説も丁寧である。
数学III	2	東書	数III 301	数学III	理工・数 III：3年 生物・数 III：3年	記述がわかりやすく、数学への興味・関心が広げられるコラム等が掲載されている。生徒が学習内容を理解できるよう、デザインや配色等、視覚的な工夫がある。
数学A	104	数研	数A 327	改訂版 数学A	全：1年	確率や平面図形は苦手とする生徒が多いので、例題や問の問題が分かりやすいものになっており、その説明も図解されているので適している。また、習熟度に合わせて、章末問題等で、補充が可能になっている。

平成29年度新潟市立高志中等教育学校後期課程用教科用図書推薦理由

<第1部>

種目	発行者の		教科書の記 号・番号	教科書名	需要類型及 び学年	推薦理由
	番号	略称				
数学B	104	数研	数B 309	数学B	全：2年	数列やベクトルの分野では、図や考え方のイメージを視覚化することによって、わかりやすい解説となっている。例、例題、応用例題と段階別の問題が分かりやすく分けて記載されており、解説も丁寧である。
物理基礎	104	数研	物基 319	改訂版 新編 物理基礎	全：1年	教科書に記載された内容が適切であり、わかりやすいように図や表なども丁寧に描かれている。また、学習内容定着のための演習問題も十分である。次年度に向けて基礎・基本を固めるのに適した教科書である。
物理	104	数研	物理 304	物理	理工：2年	物理基礎の学習を受け連続した学習を進めていくのに適していると判断した。記載内容が適切であり、丁寧な図説があるなど、わかりやすさへの配慮もなされている。また、学習内容定着のための演習問題も十分である。
化学基礎	104	数研	化基 319	改訂版 化学 基礎	全：1年	教科書に記載された内容が適切であり、学習内容定着のための演習問題も十分である。また本文の内容を深める参考や話題、図表も多く記載されており基礎から発展まで幅広く学習を進めることができる。
化学	104	数研	化学 306	化学	理工：2年 生物：2年	化学基礎の学習を受け連続した学習を進めていくのに適していると判断した。また、学んだ知識を総括的に演習するための問題も充実しており、受験にも対応できる。
生物基礎	2	東書	生基 311	改訂生物基礎	全：1年	中学校との接続を意識した簡潔な本文記述で、生徒が読みやすく、図の質も高い。また、発展的内容も適切に扱われており、中高一貫校として、質と量の調和のとれた学習指導を行うのに適している。
生物	2	東書	生物 301	生物	生物：2年	4単位という標準単位数に対して、教科書に記載された内容が適切である。また、探究や発展的内容も十分に配置されており、生物科学コースの生徒が学ぶのに適している。

平成29年度新潟市立高志中等教育学校後期課程用教科用図書推薦理由

<第1部>

種目	発行者の		教科書の記 号・番号	教科書名	需要類型及 び学年	推薦理由
	番号	略称				
保健体育	50	大修館	保体 304	現代高等保健 体育 改訂版	全：1年	統計的資料や図などが豊富に取り入れられており、解説も詳しく付けられている。また、本文で取り扱っている内容は他の教科書と比べて難しく、細かい内容を取り扱い、学習内容が多い。保健に対して興味・関心をもち、自ら調べたり深く内容を追及したりして学習を進めるのに適している。
音楽 I	27	教芸	音 I 310	MOUSA 1	全：1年	新しい曲が豊富に取り入れられており生徒の興味を引く幅広いジャンルの曲が多く盛り込まれている。楽曲内容も細かい解説が記載されており、自ら演奏方法を調べたりしながら学習を進めることができる。
美術 I	116	日文	美 I 305	高校生の美術 1	全：1年	豊富な題材構成、実物の大きさを意識した作品資料、充実の技法資料がある。生徒の興味を喚起し、作品制作中のつまづきを自力で解決することができる。自ら課題を見つけ主体的に解決していく学習を進めるのに適している。
書道 I	6	教図	書 I 302	書 I	全：1年	授業で自ら課題を見つけ、主体的に解決していく学習を進めるためには手本の使いやすさが重要である。この教科書は文字のサイズが拡大されていることや教科書のサイズが机に置きやすいように工夫されていることから、手本を有効活用して練習するのに適している。
コミュニ ケーション 英語 I	104	数研	コ I 342	Revised POLESTAR English Communication I	全：1年	生徒が関心を持てるような題材が多く採り上げられており、難易度も適当である。
コミュニ ケーション 英語 II	61	啓林館	コ II 313	ELEMENT English Communication II	全：2年	本文が見開きになっており、パラグラフフリーディングに取り組みやすい構成となっている。取り上げられている題材も生徒が興味関心をもてるようなものである。
コミュニ ケーション 英語 III	212	桐原	コ III 322	PRO-VISION English Communication III	全：3年	授業の中心となる英文が生徒の興味・関心をかきたてるような題材であふれている。また4技能を統合したさまざまな言語活動ができるように工夫されている。
英語表現 I	231	いいずな	英 I 341	be English Expression I Advanced	全：1年	問題が内容・量ともに適当であり、見やすい構成で生徒の理解の助ける工夫がなされている。インプット、アウトプットの活動量やバランスも良い。

平成29年度新潟市立高志中等教育学校後期課程用教科用図書推薦理由

<第1部>

種目	発行者の		教科書の記 号・番号	教科書名	需要類型及 び学年	推薦理由
	番号	略称				
英語表現Ⅱ	15	三省堂	英Ⅱ 302	CROWN English Expression Ⅱ	全：2年	構成がすっきりしていてねらいとする学習事項が理解しやすい。問題演習を通じて、単文からまとまりのある文章、そしてパラグラフライティングへの道筋が示されている。
家庭基礎	6	教図	家基 313	高等学校 家庭基礎 グローバル& サステイナビ リティ	全：2年	新しい資料が豊富に取り入れられ、見やすく、登場人物と同じ視点で課題の発見と解決に向けた主体的、協働的な学習が行いやすい。常に「グローバル」「サステイナビリティ」というコラムが各所に掲載されており、広い視野をもち、多様な価値観の中から自分の価値を見つけられるよう工夫されている。
社会と情報	7	実教	社情 311	最新社会と情 報 新訂版	全：1年	例題や事例が豊富であり、論理的な思考や客観的な視点を身につけるための教材の工夫がある。情報倫理や統計処理などを扱っており、他教科との連携を図りやすい。

報 告

平成28年度 新潟市奨学生等の選考結果について

学 務 課

1 奨学生（候補者）の選考

新潟市奨学金条例施行規則第4条及び新潟市社会人奨学金条例施行規則第4条に基づき、下記により奨学生（候補者）の選考を行うため選考委員会を開催した。

(1) 開催日 平成28年8月5日（金）

(2) 選考内容 新潟市奨学生及び新潟市社会人奨学金選考基準に基づき基準適合の可否について選考委員より意見を聴取した。

2 選考結果

(1) 新潟市奨学金

	高等学校	専門学校	短期大学	大学	大学院	合計
申請数	0	10	6	78	4	98
基準適合外	0	1	0	4	0	5
候補者数	0	9	6	74	4	93

《募集人数》 120人

《貸付額》 高等学校 : 年額20万円

専門学校・短期大学・大学・大学院 : 年額40万円

(2) 社会人奨学金

	専門学校	短期大学	大学	大学院	合計
申請数	6	0	1	0	7
基準適合外	0	0	0	0	0
候補者数	6	0	1	0	7

《募集人数》 10人

《貸付額》 年額20万円、30万円、40万円から申請時に選択
(今年度は全て40万円を選択)

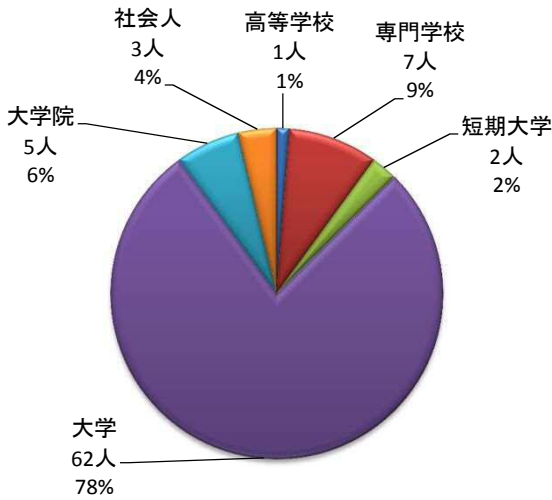
参考

年度別採用状況

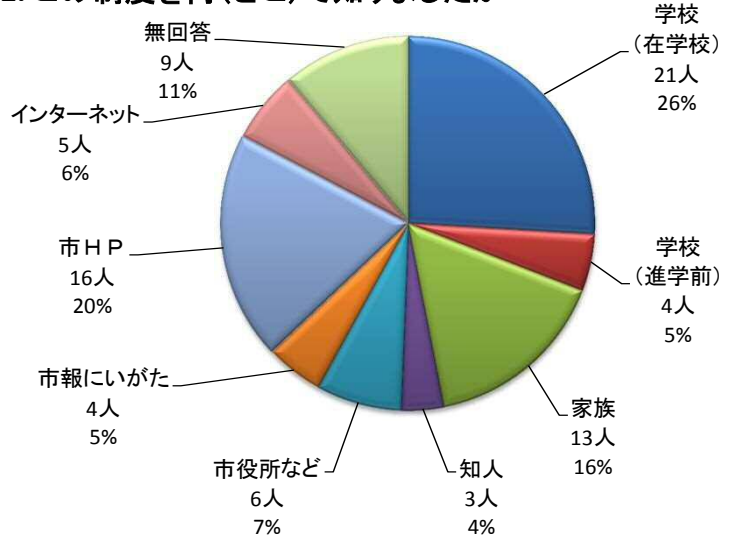
年度	高校		専門学校		短大		大学		大学院		合計		社会人	
	募集人数	採用人数	募集人数	採用人数	募集人数	採用人数	募集人数	採用人数	募集人数	採用人数	募集人数	採用人数	募集人数	採用人数
H26	10	3	18	12	7	0	80	73	10	7	125	95	8	8
H27	8	0	17	11	5	3	80	68	10	4	120	86	10	2
H28	8	0	17	9	5	6	80	74	10	4	120	93	10	7

平成27年度貸付終了者からのアンケート結果(93人中80人から回答)

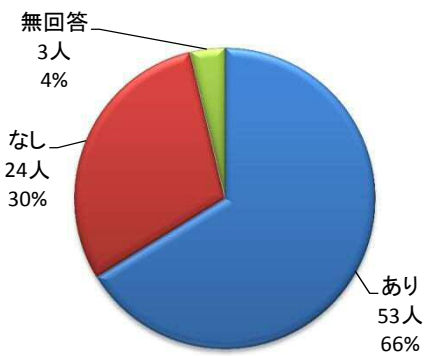
1. アンケート回答者の貸付種別



2. この制度を何(どこ)で知りましたか



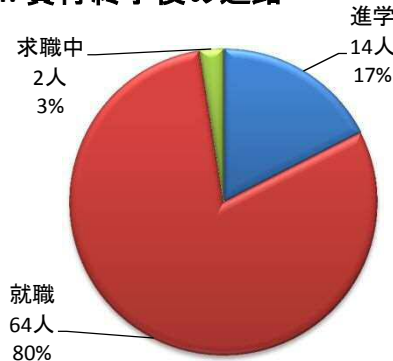
3. 他の奨学金制度の利用



【併用している主な奨学金】

- ・日本学生支援機構奨学金 (29人)
- ・新潟県奨学金 (6人)
- ・新潟県看護職員臨時修学資金 (1人)
- ・民間の奨学金 (2人)
- ・在学校の奨学金 (1人)

4. 貸付終了後の進路



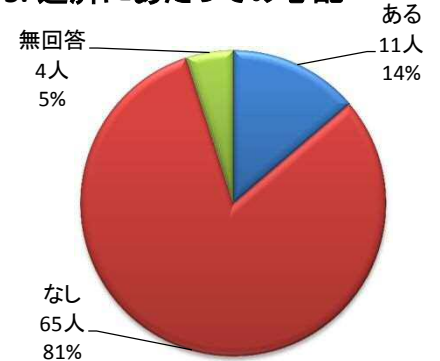
【就職先の主な業種】

- ・医療, 福祉業 (22人)
- ・公務員 (10人)
- ・教育, 学習支援業 (6人)
- ・卸売, 小売業 (4人)
- ・金融, 保険業 (3人)

【就職先の主な所在地】

- ・新潟市内 (27人)
- ・新潟県内 (10人)
- ・関東圏内 (12人)

5. 返済にあたっての心配



【「ある」と回答した主な内容】

- ・病気などで収入が減った時の心配 (5人)
- ・計画的に返済できるか心配 (4人)
- ・他の奨学金の返還もあり心配 (1人)

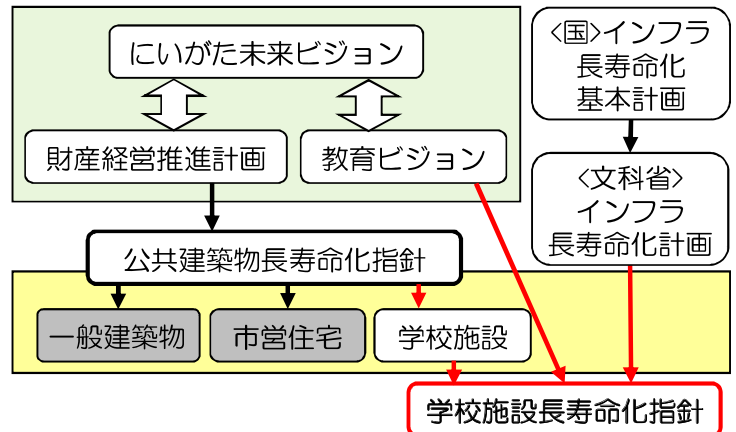
その他意見(自由記載)

- ・市報にいがたの記事は小さいと思った。(見逃しそう)
- ・借りる時期まで市の奨学金を知らなかった。
- ・十分周知されていると思う。高校で保護者向けに説明があれば良いと思う。
- ・もっと少額でも給付型奨学金があったらよい。
- ・利息が無く、親でも連帯保証人になれるのが助かった。
- ・卒業し資格も取り、春から看護師として市内の病院に勤務します。ありがとうございました。
- ・お金の心配がなく、学業に専念できる環境の提供を受け、気持ちよく学生生活を楽しむことができました。
- ・このような制度があり非常に助かりました。本当にありがとうございました。
- ・おかげ様で、在学中は勉強に専念し、充実した学生生活を送ることができました。
- ・全体的に書類が見やすく、有難かった。

新潟市学校施設長寿命化指針（概要）

1. 指針の目的と位置づけ

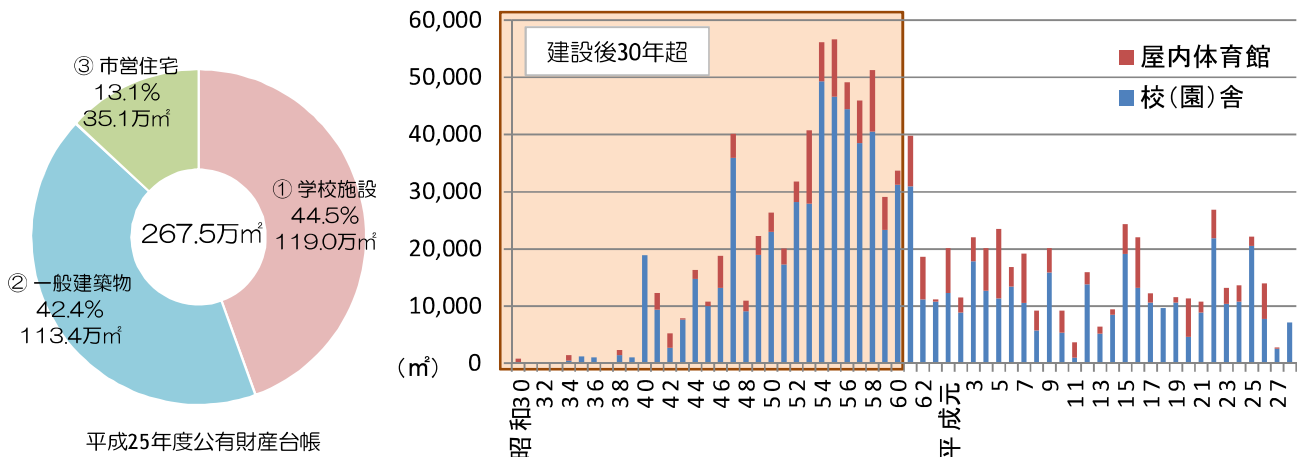
平成27年3月に文部科学省の長寿命化計画が策定され、学校施設の長寿命化に向けた取組みが一層推進されることとなったことを受け、学校施設の既存ストックを適切に保全し、有効に活用していくことを目的に、新潟市公共建築物長寿命化指針を踏まえ、学校施設の長寿命化を推進するための方針を定める。



2. 学校施設の現状と課題

学校施設の現状

- ▶本市が保有する公共建築物全体の面積の4割以上を占める。
- ▶平成28年4月現在、小学校108校、中学校56校、特別支援学校2校、高等学校2校、幼稚園11園、中等教育学校1校を保有。
- ▶建築後30年以上経過する建物が学校施設全体の面積の5割以上を占め、耐震化は完了しているものの、今後は老朽化対策が喫緊の課題。



学校施設の課題

既存ストックの老朽化対策と有効活用

- ▶長寿命化により既存ストックを有効に活用し、併せて複合利用等による市有財産の効率化を図る

コスト縮減と財政支出の平準化

- ▶厳しい財政状況において効果的かつ実効性のある事業手法を検討する

多様化する教育環境や環境への対応

- ▶省エネルギー、ユニバーサル対応、避難所利用など、社会情勢の変化や多様化するニーズに対応できる施設性能を確保する

3. 学校施設の目指すべき姿

- 学びのセーフティネットとしての学校施設
 - ▷安心安全な教育環境の確保と災害に備えた避難所機能の強化
- 学校教育・生涯学習の基盤となる学校施設
 - ▷学校内のボランティア室整備など、地域と連携した学校運営の実現
- 学校運営の将来を見据えた持続可能な学校施設
 - ▷多様化する教育環境やニーズに対応できる施設整備
 - ▷環境負荷の低減

4. 学校施設整備の基本方針

○目標使用年数

- ▶目標使用年数80年を基本とする。

○改修の実施手法

- ▶建物の物理的な不具合を解消し、耐久性を高めるとともに、建物の機能や性能を現在及び将来に向け求められている水準へ引き上げる改修を行う。
- ▶学校運営への影響を考慮し、夏休み等の長期休業期間での工事实施を原則とする。
- ▶大規模改造事業等の国庫補助事業を活用するなど、積極的に財源確保を図るほか、改修工事に係る全体事業費を平準化し、長寿命化の継続的な推進を図る。

○改修の実施時期

- ▶学校運営への影響や有効な予防保全等を考慮し、目標使用年数80年の期間内で、大規模な改修工事の2回実施を目指す。

5. 長寿命化に向けた継続的運用方針

○長寿命化実施計画の策定

- ▶施設整備の水準を定め、中長期的な実施計画を策定する。

○施設情報の管理と活用

- ▶学校施設の状況や過去の改修履歴等のデータを適切に管理し、これを基に学校施設の改修内容や改修時期を総合的に判断するとともに、実施計画の見直しを行う。

○推進体制等の整備

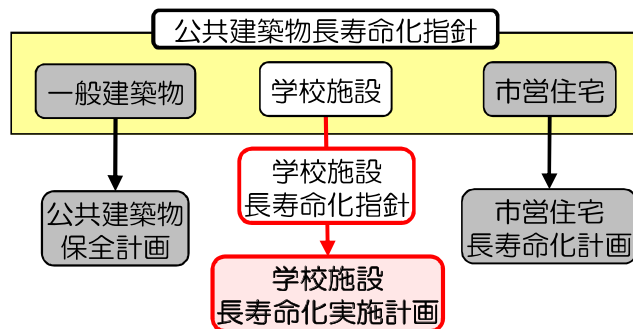
- ▶学校や園、教育委員会各課をはじめ、関係部署との連携を一層図り、長寿命化を推進する体制を充実する。

新潟市学校施設長寿命化実施計画（概要）

1. 計画の目的と位置づけ

新潟市学校施設長寿命化指針に基づき、学校施設について中長期的な実施計画を策定することにより、目標使用年数80年を目指し、学校施設の長寿命化対策の効果的な実施を図る。

計画期間は平成29～38年度の10年間とする。



2. 計画の対象

対象施設

市立学校施設（小学校、中学校、特別支援学校、高等学校、幼稚園、中等教育学校）のうち、以下の施設を計画の対象とする。

- ・構造が木造以外であり、階数が2以上または延べ面積が200㎡を超えるもの
- ・構造が木造であり、階数が3以上または延べ面積が500㎡を超えるもの

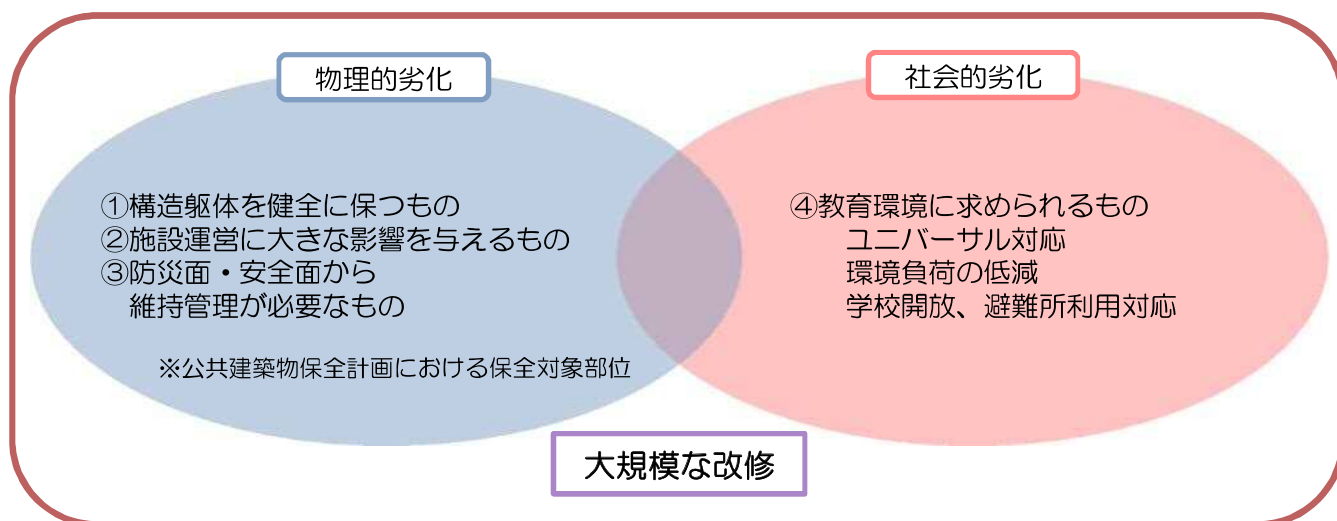
平成28年4月1日時点

	小学校	中学校	特別支援 学校	高等学校	幼稚園	中等教育 学校	計
施設数 (校・園)	108	56	2	2	10	1	179
棟数 (棟)	533	351	16	5	17	8	930
延面積 (㎡)	625,152	406,815	12,217	20,806	9,570	16,146	1,090,706

対象工事

指針における学校施設整備の基本方針に基づき、経年等による建物の物理的劣化に対応する改修と、学校施設を取り巻く環境や社会的・技術的情勢の変化（社会的劣化）に対応し、より良い教育環境を確保するための改修を総合的に実施する大規模な改修工事を計画の対象とする。

必要に応じて個別に実施される比較的更新周期の短い設備機器等の更新や、立地条件等により劣化の進行が著しい箇所の部分的な補修については、計画の対象外とする。



3. 施設整備の水準

大規模な改修の実施にあたり、建物の構造体やインフラ等の耐久性を高めること及びより良い教育環境を確保するため施設機能の充実を図ることの両方の視点において、以下のとおり施設整備の水準を定める。（※一部を抜粋）

改修部位		従来一般的な施設水準	改修整備水準
①構造躯体を健全に保つもの			
外壁		耐用年数が短い外装材	耐用年数が比較的長い外装材
②施設運営に大きな影響を与えるもの			
受変電設備		屋外設置	屋内設置
空気調和設備	冷房設備	未設置	管理諸室等にエアコン設置
衛生設備	給水設備	高置水槽方式	直結・加圧給水併用方式
③防災面・安全面で配慮が必要なもの			
防災設備	防火区画	防火シャッター	防火扉または安全装置付シャッター
防犯対策	侵入防止	未設置	入口にオートロック、インターホンを設置
④教育環境に求められるもの			
ユニバーサル対応	段差解消	未対応	スロープの設置
	手摺	未設置または片側設置	階段の両側に設置
省エネ対応	照明設備	蛍光灯	LED照明
	衛生設備	未対応	節水型機器、高効率機器
トイレ	多様な利用への配慮	未設置	多様な利用に配慮したトイレの設置
	床	湿式	乾式
	衛生器具	和式便器のみ	洋式便器設置
給食室		非ドライシステム	ドライシステム
地域利用等	ボランティア室	未設置	設置
	放課後児童クラブ	未設置	必要に応じて設置

4. 長寿命化の実施計画

○老朽度調査等による優先度の評価

- ▶各学校施設における現地調査による施設の劣化状況と、建築年または大規模な改修工事からの経過年数により優先度を評価する。

○計画期間内の実施対象校の抽出

- ▶優先度の評価を基に、計画期間内での実施対象校を抽出する。
- ▶実施にあたり、関係担当部署等との経営的・技術的検討の結果、長寿命化への対応に適さない施設と判断された施設については、大規模な改修工事以外の手法を検討する。

○長寿命化の効果

- ▶改築による整備と比較し、工期が短く、学校運営への影響が少ない。
- ▶建物の使用期間における1年あたりの必要なコストが縮減される。
- ▶改築主体の従来整備サイクルでの事業実施と比較し、計画期間内（10年間）において必要となる事業費が縮減される。

